

平成26年度 川口団地外壁改修工事

図面リスト

意匠図			
図番	図面名	図番	図面名
A-1	改修特記仕様書(その1)	A-16	西側立面図(X6面)
A-2	改修特記仕様書(その2)	A-17	南側・北側立面図(Y1・Y4面)
A-3	改修特記仕様書(その3)	A-18	Y方向断面図
A-4	改修特記仕様書(その4)	A-19	X方向断面図
A-5	改修特記仕様書(その5)	A-20	矩計図
A-6	改修特記仕様書(その6)	A-21	建具平面図
A-7	改修特記仕様書(その7)	A-22	建具表
A-8	改修特記仕様書(その8)	A-23	改修標準図
A-9	仮設計画図	A-24	劣化図. 1 (X1面)
A-10	配置図、案内図	A-25	劣化図. 2 (X6面)
A-11	1階平面図	A-26	劣化図. 3 (Y1・Y4面)
A-12	2階平面図	A-27	劣化図. 4 (天井伏図)
A-13	3～7階平面図		
A-14	屋根伏図、搭屋伏図		
A-15	東側立面図(X1面)		

2 仮設工事
1 足場その他
2 既存部分の養生
3 仮設間仕切り
4 監督職員事務所
5 工事用水
6 工事用電力
3-0 土工事
1 埋戻し及び盛土
2 現況発生土の処理
3 防水改修工事
1 共通事項
2 降雨等に対する養生方法(とい夫)
3 既存防水の処理
4 既存防水層の下部補修
5 アスファルト防水

3 防水改修工事(続き)
6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水

屋根露出防水
防水層の種類
断熱材[G]
仕上塗料
高日射反射率防水の適用[G]
備考
260501

3 防水改修工事(続き)
8 塗膜防水
9 シーリング
10 とい
11 アルミニウム製笠木
12 折板葺

外壁改修工事(続き)
4-1 外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁
4-2 外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

6 ポリマーセメントスラリー
7 既製鋼合モルタル
1 ひび割れ部改修工法
2 欠損部改修工法
3 鉄筋腐食の補修
1 既存モルタル塗りの除去
2 ひび割れ部改修工法
3 欠損部改修工法

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁(続き)

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁(続き)

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

4-5 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

Table with columns for construction type, number of joints, and injection volume. Includes sections for Anker-Pin and Mortar application.

Table for tile specifications including tile type, size, and application method.

Table for plastering methods and materials, including mesh and reinforcement details.

Table for tile replacement and repair methods, detailing joint and surface treatments.

Table for plastering and tile application, including material specifications and application techniques.

5 目地改修工法

6 タイルの形状、寸法等

7 既存塗膜等の除去及び下地処理

8 下地調整塗材

9 仕上げ塗材仕上げ

10 塗膜防水仕上げ

アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

Table for joint repair methods, including material types and application procedures.

Table for tile specifications and application methods, including material types and joint treatments.

Table for surface preparation and repair, including material types and application techniques.

Table for finishing and waterproofing, including material types and application procedures.

Table for waterproofing and finishing, including material types and application techniques.

5 建具改修工事

1 改修工法

2 防火

3 見本の製作等

4 防犯建物部

5 アルミニウム製建具

Table for repair methods, including material types and application techniques.

Table for fire and security measures, including material types and application procedures.

Table for sample creation and security measures, including material types and application techniques.

Table for fire and security measures, including material types and application procedures.

Table for aluminum building materials, including material types and application techniques.

Table for building materials, including material types and application procedures.

5 建具改修工事(続き)

6 ステンレス製建具

7 鋼製建具

8 鋼製軽量建具

9 鋼製建具

10 木製建具

耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建物符号: ・建具表による) ・適用しない

性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない

防火 外部に面する建具の耐火性能 ・S-4 (建具符号: ・建具表による) ・S-5 (建具符号: ・建具表による) ・S-6 (建具符号: ・建具表による)

見本の製作等 ・特殊な建具の仮組 (建具番号:) (建物符号: ・建具表による)

防犯建物部 ・適用する () 適用箇所 (・建具表による) ・適用しない

アルミニウム製建具 性能等級 外部に面する建具 ・A種 (建物符号: ・建具表による) ・B種 (建物符号: ・建具表による) ・C種 (建物符号: ・建具表による)

5 建具改修工事(続き)

Table with 5 main sections: 12 自動ドア開閉装置, 13 自開式上吊り引戸装置, 14 重量シャッター, 15 軽量シャッター, 16 オーバーヘッドドア, 17 ガラス. Each section contains detailed specifications and material requirements.

6 内装改修工事

Table with 7 main sections: 18 ガラス用フィルム, 19 鍵箱, 20 既存壁の撤去及び下地補修, 21 既存壁の撤去及び下地補修, 22 木下地等の表面仕上げ, 23 製材, 24 造作用集材, 25 造作用単板積層材. Each section details construction methods and material standards.

6 内装改修工事(続き)

Table with 8 main sections: 26 床張り用合板, 27 接着剤, 28 防蟻・防蟻処理, 29 床板張り, 30 軽量鉄骨天井下地, 31 軽量鉄骨壁下地. Details on flooring, adhesives, and structural reinforcement.

6 内装改修工事(続き)

Table with 14 main sections: 32 ビニル床シート, 33 ビニル床タイル, 34 ビニル幅木, 35 カーペット敷き, 36 タイルカーペット, 37 成層樹脂塗床, 38 フローリング張り. Details on flooring materials and installation methods.

6 内装改修工事(続き)
天然木化粧複合フローリング
種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間仕材等の適用

6 内装改修工事(続き)
23 モルタル塗り
6 内装改修工事(続き)
27 移動間仕切
28 移動間仕切
29 トイレブース
30 視覚障害者用床タイル
31 階段滑り止め
32 床目地枠
33 手すり
34 黒板及びホワイトボード
35 ブラインド

6 内装改修工事(続き)
27 移動間仕切
28 移動間仕切
29 トイレブース
30 視覚障害者用床タイル
31 階段滑り止め
32 床目地枠
33 手すり
34 黒板及びホワイトボード
35 ブラインド

6 内装改修工事(続き)
36 カーテン
37 カーテンレール
38 ブラインドボックス及びフィンボックス
39 ロールスクリーン
40 コーナービード(壁が1ド出隅保護金物)
41 天井見切縁
42 天井点検口
43 床点検口
44 通作家具
45 くつろぎマット
46 ステンレス流し台
47 コンロ台

6 内装改修工事 (続き)	48 吊戸棚	※優良住宅部品 (セクショナルキッチン) ・ ()		
	49 水切欄	※既製品 ステンレス製一般型 ・ ()		
	50 屋内指示板	種類 取付方法 寸法 枠の材質 備考		
	51 鋼製書架及び物品棚	種 類 規格等 JISによる種類 (20.2.10)		
	52 洗面カウンター	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石		
	53 防煙垂れ壁	・固定式		
	54 表示	表示標識 案内図記号についてはJIS Z 8210による。		
	7 塗装改修工事		1 材料	壁内で使用する塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外
			2 下地調整	塗装層R種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替面積の30% (明示)
			3 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別
			4 塗装	・合成樹脂調合ベイト塗り (SOP)
			5 フッ素樹脂塗装	打放しコンクリート面保護工法
			6 焼付塗装	素材 焼付種別 仕上げ
			7 耐震改修工事	改修工事特記仕様書[耐震改修工事]による
8 耐震改修工事			1 材料	壁内で使用する塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外
		2 下地調整	塗装層R種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替面積の30% (明示)	
		3 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別	
		4 塗装	・合成樹脂調合ベイト塗り (SOP)	
		5 フッ素樹脂塗装	打放しコンクリート面保護工法	
		6 焼付塗装	素材 焼付種別 仕上げ	
		7 耐震改修工事	改修工事特記仕様書[耐震改修工事]による	

7 塗装改修工事	1 材料	壁内で使用する塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外		
	2 下地調整	塗装層R種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替面積の30% (明示)		
	3 錆止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別		
	4 塗装	・合成樹脂調合ベイト塗り (SOP)		
	5 フッ素樹脂塗装	打放しコンクリート面保護工法		
	6 焼付塗装	素材 焼付種別 仕上げ		
	7 耐震改修工事	改修工事特記仕様書[耐震改修工事]による		
	9 環境配慮改修工事		1 アスベスト除去工事 共通事項	石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから選任する
			2 アスベスト成形板の処理等	処理を行うアスベスト成形板の仕様等
			3 施工調査	※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
			4 アスベスト含有 保温材等の処理	アスベスト含有保温材等の施工調査
			5 断熱材	フェノールフォームのホルムアルデヒドの放熱量
			6 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料
			7 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト含有分析調査
8 環境配慮改修工事 (続き)			アスベスト粉じん濃度測定	

9 環境配慮改修工事	1 アスベスト除去工事 共通事項	石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから選任する
	2 アスベスト成形板の処理等	処理を行うアスベスト成形板の仕様等
	3 施工調査	※ JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による
	4 アスベスト含有 保温材等の処理	アスベスト含有保温材等の施工調査
	5 断熱材	フェノールフォームのホルムアルデヒドの放熱量
	6 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料
	7 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト含有分析調査
	8 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト粉じん濃度測定

9 環境配慮改修工事 (続き)	3 吹付けアスベストの処理	吹付けアスベストの施工調査
	4 アスベスト含有 保温材等の処理	アスベスト含有保温材等の施工調査
	5 断熱材	フェノールフォームのホルムアルデヒドの放熱量
	6 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料
	7 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト含有分析調査
	8 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト粉じん濃度測定
	9 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト含有吹付け材の除去
	10 環境配慮改修工事 (続き)	アスベスト含有断熱材等の施工調査
	11 環境配慮改修工事 (続き)	現場発泡断熱材 (A種1)
	12 環境配慮改修工事 (続き)	環境配慮改修工事 (その7)
	株式会社 戸設計	
	川口団地外壁改修工事	
	改修特記仕様書 (その7)	
	平成26年版	

7 透水性アスファルト舗装改修工事 [8.7.2.3.5~9]

適用範囲：歩道
既存舗装の除去及び再利用 ※図示

路床

路床の材料	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)	・図示
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン[G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)	・図示
・フィルター層	・砂	・図示

路床安定処理
※添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)

添加量 kg/m³ (目標CBR ・5以上)

・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ(mm) ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・1.5×10⁻⁴cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・行う ・行わない
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示
路盤材料 ※再生材のクラッシュヤラン[G]
・クラッシュヤラン舗装スラグ[G]
・
・
・図示

試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

舗装

材料	厚さ(mm)
・ストレートアスファルト	・図示

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの

8 排水性アスファルト舗装[G] (22.8.2.3.6)

区分	種類	材料	厚さ(mm)
表層	・排水性舗装用73776t混合物	・677a-改質73776tⅡ型	・図示
基層	・加熱73776t混合物等(密粒73776t混合物)	・再生73776[G] ・ストレート73776t	・図示

舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの
試験
73776t混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

9 路盤 (22.2.7.3.5)(表3.2.1)

路盤の厚さ ・図示
路盤材料 ・砕石 C-40
・再生クラッシュヤラン[G] RC-40
・クラッシュヤラン舗装スラグ[G] CS-40
・
・図示

試験
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

3 アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示

材料
アスファルト ・再生アスファルト[G] ・スレートアスファルト
骨材 ・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)
基層	一般及び寒冷地域	・粗粒度アスファルト混合物(20)

シールコートの施工 ・行う ・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※通行の資料となる水たまりを生じない程度

10 保証書の提出及び保証期間

請負者と下請業者の二者連名による保証書を監督職員に提出する。

種別	適用	保証期間
防水改修工事	・アスファルト防水	()年
	・合成高分子系ルーフィングシート防水	()年
	・塗膜防水	()年
	・シーリング	(5)年
内装改修工事	・防蟻処理	()年
	・	()年
外壁改修工事	・アクリルゴム系外壁化粧防水材	()年
	・外壁補修 (注込、ピンニング、ポリマーセメント等)	(10)年 ()年 ()年

2 イメージアップ工事

項目	適用
(1) 休憩所	・面積 m ² ・内装の程度 ()
(2) 更衣室	・面積 m ² ・内装の程度 () ・ロッカー
(3) シャワー施設	・ユニット ケ所 ・現増建て ケ所
(4) トイレの水洗化	・水洗 ・簡易水洗
(5) 仮面いのデザイン	・範囲 () ・仕様 () ・塗装の程度 ・見学窓
(6) フラワーボックス	・大きさ () ・個数 個 ・設置期間 ()
(7) 夜間照明設備	・仕様 () ・個数 個 ・設置場所 () ・照明時間 ()
(8) PRコーナー	・設計図面に提示
(9) PR看板	・大きさ () ・個数 個 ・仕様 ()
(11) 通学路等専用歩道	・仮設図面に提示

10 PCB含有シーリング材

・サンプリングの採取(1次分析用)
現場においてサンプルを採取する
採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・()箇所
採取箇所数 ※部材が異なる毎に1箇所 ・()箇所

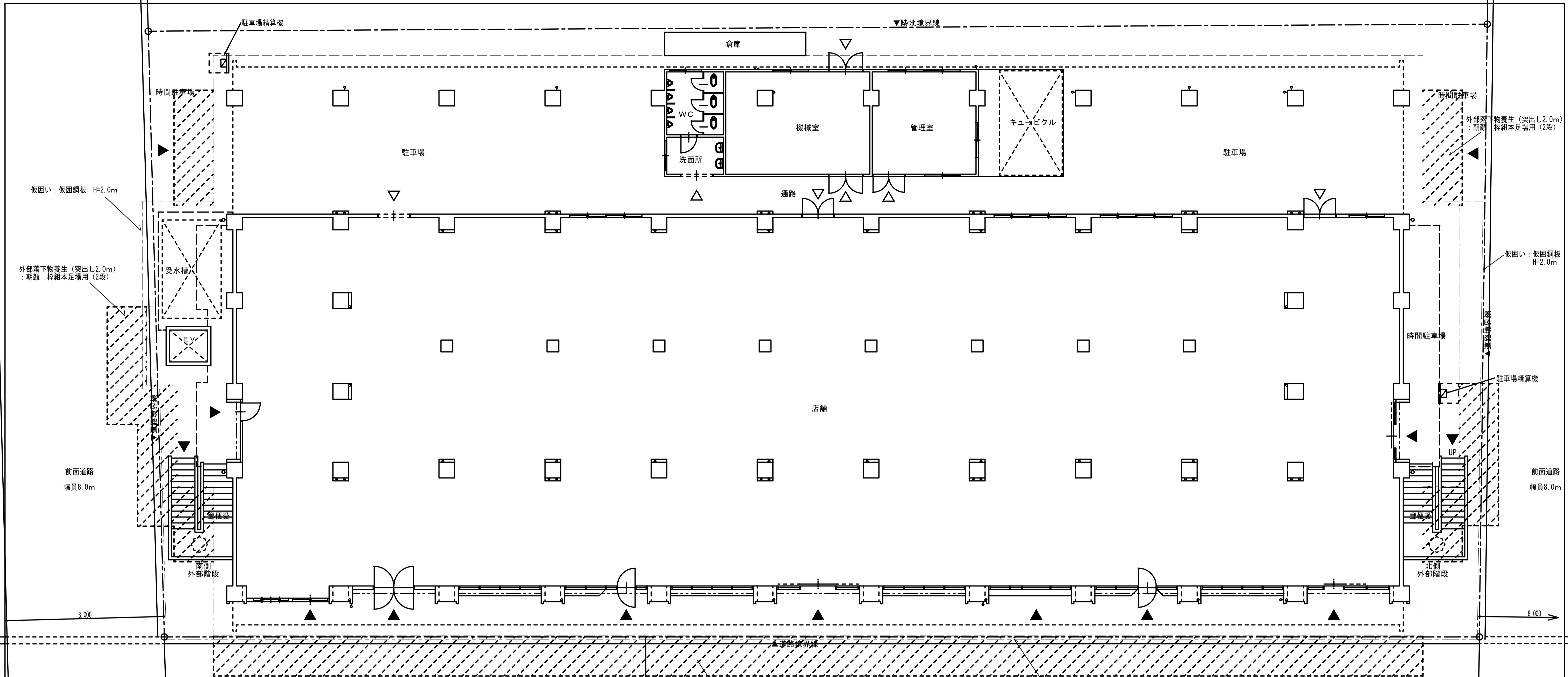
・サンプリングの採取(2次分析用)
・現場においてサンプルを採取する
採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・()箇所
採取箇所数 ・()箇所
・免注者より貸与する
分析箇所 ・()箇所

1)採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う
2)シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、
ただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No.及び採取場所を記入する。
サンプルは1袋につき1つ入れること。
3)カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に換えること
4)シーリング材を切断した部分には必要に応じて補修すること。
補修材料は特記仕様書による。
5)皮膚との接触等を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する
6)休憩時及び作業終了時には必ず手洗いをを行う
7)作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他の
ごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

・サンプリングの分析
・1次分析(シーリング種類の調査)
「シーリング材種別判定及びPCB含有分析の要否判定依頼書」を作成し、採取した
サンプルと併せて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと
・2次分析(PCB含有率調査)
専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと

・施工調査等
調査範囲 ※図示 ・()
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと
シーリングの使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の抽出方法

・除去処理工事
PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する
特別措置法(平成13年法律第65号)」により適切に行うこと
1)工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承認を得ること
2)シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、
作業区域からの飛散防止措置をとること
3)作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること
4)シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する
5)除去工事終了後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ、
保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、
監督職員の承認を得たものとする。
6)除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること
7)工事終了後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員
と協議する



仮囲い：仮囲鋼板 H=2.0m

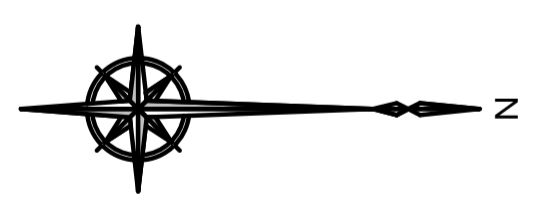
外部落物養生（突出し2.0m）
朝顔 枠組本足場用（2段）

前面道路
幅員8.0m

外部落物養生（突出し2.0m）
朝顔 枠組本足場用（2段）

仮囲い：仮囲鋼板 H=2.0m

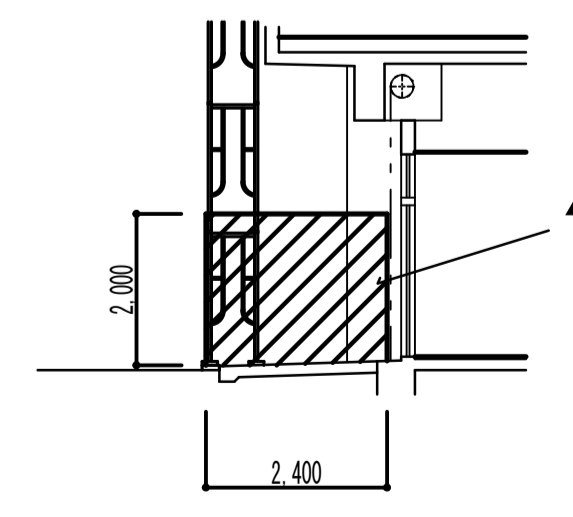
前面道路
幅員8.0m



仮設計画図 S=1/100

- : 外部落物養生（突出し2.0m） 朝顔 枠組本足場用（2段）
- : 仮囲い 仮囲鋼板 H=2.0m
- : 枠組本足場（W900）手摺先行方式
- : 枠組本足場（W600）手摺先行方式

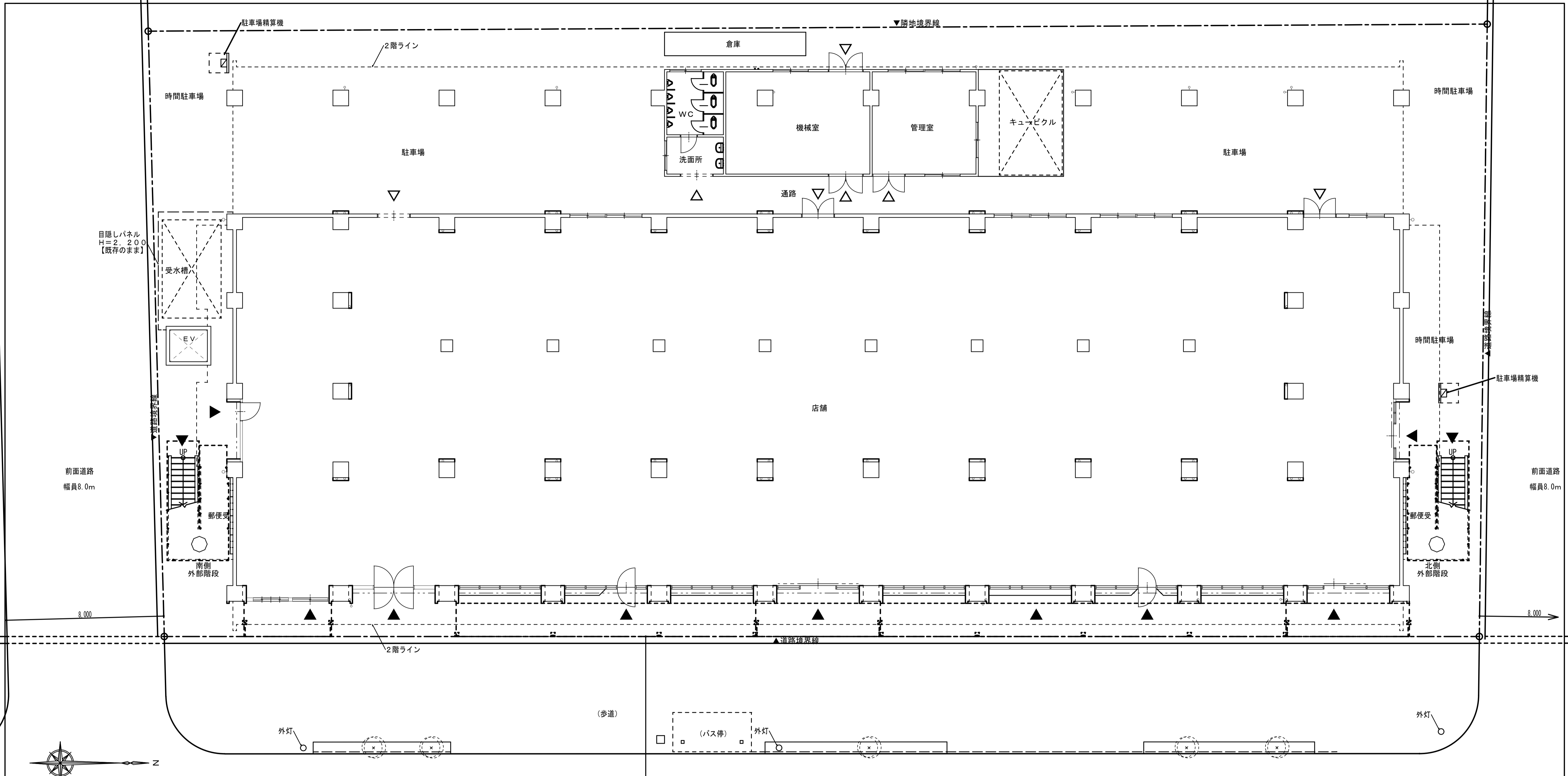
※足場の施工に際しては、店舗・西側駐車場・階段出入口等の災害防止を考慮の上、仮設計画を行い監督員と協議の上決定する。



- ▲ 1・店舗出入口は、落下物による災害防止の為、三方を合板貼養生とする。（開口巾1.7m×2.0m）
- 2・西側駐車場出入口は、落下物による災害防止の為、三方を合板貼養生とする。（開口巾3.4m×H=3.0m）
- 3・階段出入口は、落下物による災害防止の為、上方を合板貼養生とする。（3.0m×5.0m）

出入口養生 S=1/100

記											
平											



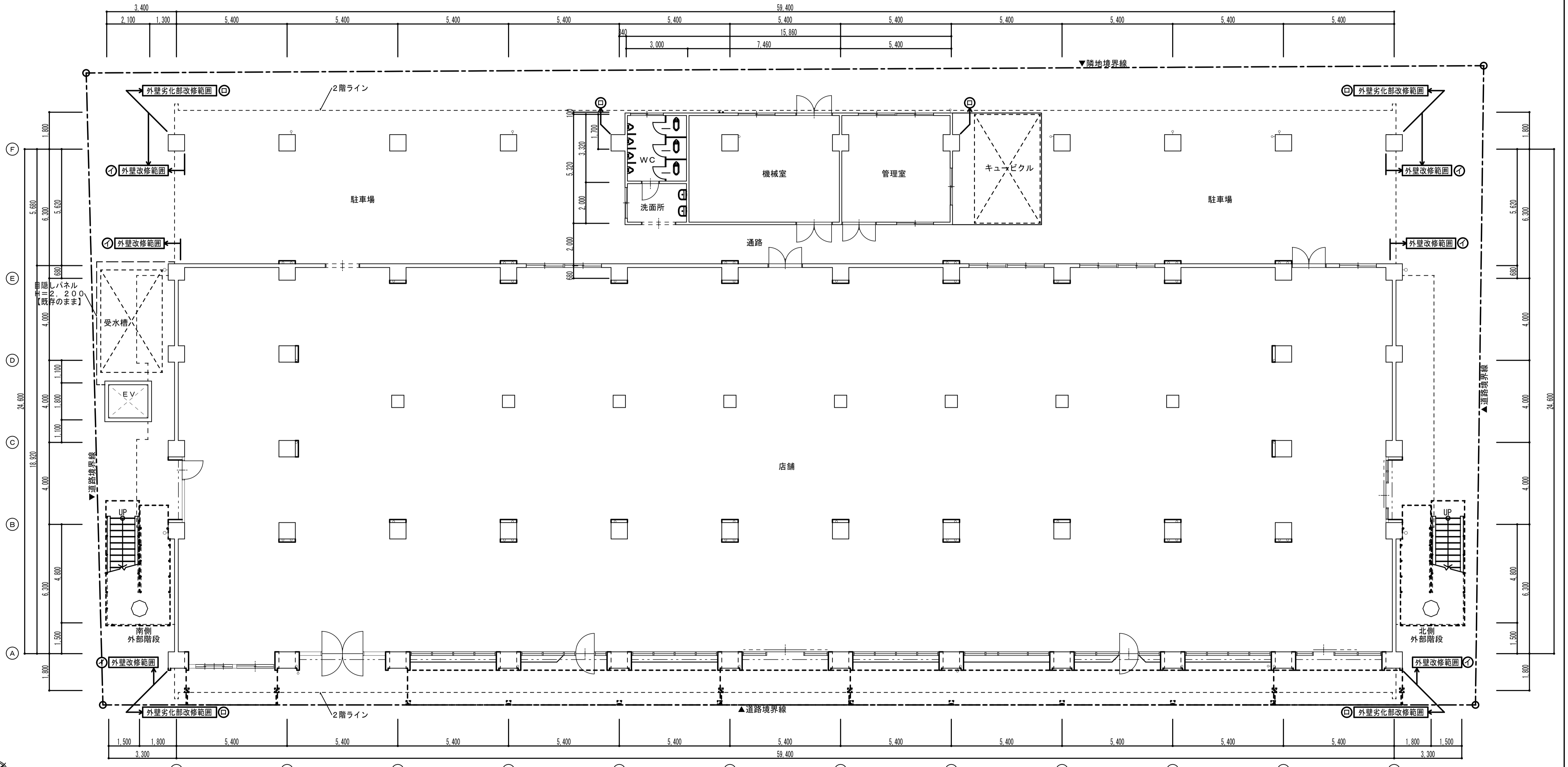
配置図 S=1/100



記					
事					

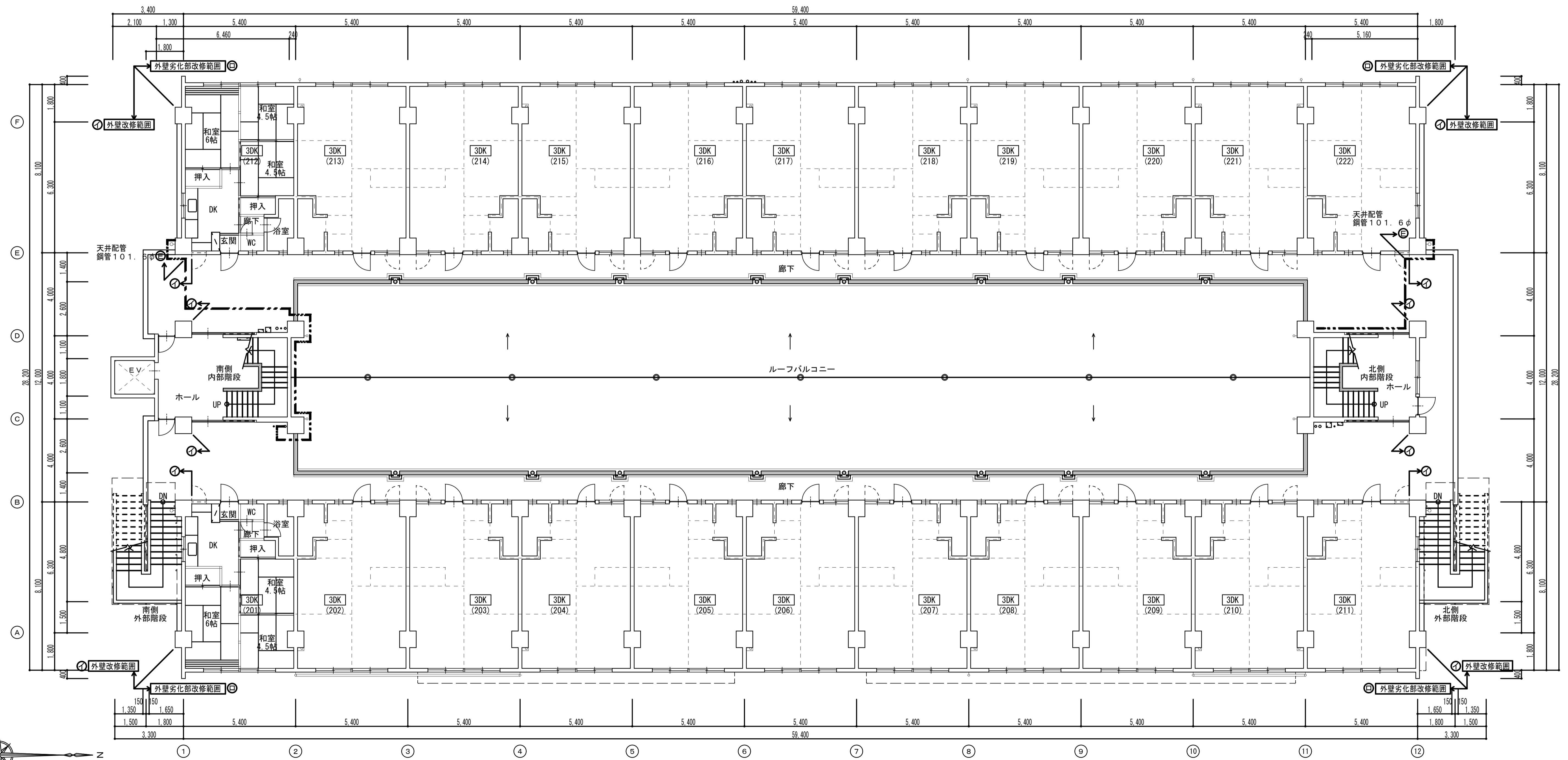
〒82-8035 長崎市油木町15番11号 TEL(06)942-5001		設計	担当	製図	工事名称	設計日
株式会社 木戸設計					川口団地外壁改修工事	H26.9.
一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号		図面名称		縮尺	図面番号	
		配置図、案内図		1/100(A1) 1/200(A3)	A-10	

仕上凡例 ※特記なきものは以下による		⑤-4 南北面 外部巾木		⑤-1 南北面 鉄面塗替え (建具、管、盤他)		備考			
A-1 南北外壁面 バラベツ	既存	モルタル刷毛引きの上、複層塗材E吹付	既存	モルタル仕上	既存		1. 外壁改修範囲 ①外壁改修(南北面) : 全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする。 ②外壁劣化部改修(東西面) : 劣化部分のみの改修及びその部分の仕上塗材補修とする。 (※GL+21.900レベルのバラベツ及び揚巻は全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする) 2. ⑤締止め: 変性エポキシ樹脂プライマー現場2回塗。 3. 図示以外の配管については、必要に応じ現場にて監督員との協議の上、塗装など処理を行う。 4. 設備配管撤去については状況を確認し、再度監督員との協議の上決定する。 (撤去後の補修: キャップ止めとする。) 5. 改修施行範囲は、施工数量調査を行い、監督員との協議の上決定する。		
	改修	高圧水洗浄 +セメント系下地調整塗材(C-1)カチオン系(JIS A 6916) +アクリルゴム系壁面防水化粧材仕上(JIS A 6021 外壁用塗膜防水材)	改修	高圧水洗浄	改修	下地調整(RB種)+錆止め+DP塗替(3級 B種) ※管の掴み金物は特記のみ【取替】とする			
A-2 東西外壁面 バラベツ	既存	モルタル刷毛引きの上、複層塗材E吹付	⑤-5 東西面 外部巾木	既存	モルタル仕上	⑤-2 東西面 鉄面塗替え (建具、管、盤他)		既存	SOP塗
	改修	高圧水洗浄 +セメント系下地調整塗材(C-1)カチオン系(JIS A 6916) +アクリルゴム系壁面防水化粧材仕上(JIS A 6021 外壁用塗膜防水材)		改修	既存のまま			改修	既存のまま
E-1 南北外壁面 (塗材部)	既存	モルタル刷毛引きの上、外装薄塗材E吹付 または複層塗材E吹付	⑤-1 南北面 揚げ裏	既存	モルタル刷毛引きの上、外装薄塗材E吹付(リシン)	⑤-2 東西面 鉄面塗替え (建具、管、盤他)		既存	SOP塗
	改修	高圧水洗浄 +セメント系下地調整塗材(C-1)カチオン系(JIS A 6916) +アクリルゴム系壁面防水化粧材仕上(JIS A 6021 外壁用塗膜防水材)		改修	高圧水洗浄 +水性反応硬化形軒天用塗替専用仕上塗材			改修	既存のまま
E-2 東西外壁面 (塗材部)	既存	モルタル刷毛引きの上、外装薄塗材E吹付 または複層塗材E吹付	⑤-2 東西面 揚げ裏	既存	モルタル刷毛引きの上、外装薄塗材E吹付(リシン)	⑤-1 南北面 塩ビ面 (管、盤他)		既存	V P塗
	改修	既存のまま(劣化改修部分の仕上塗材補修のみとする。B-1に準ずる)		改修	高圧水洗浄 +水性反応硬化形軒天用塗替専用仕上塗材			改修	下地調整(鉄面RB種程度)+DP塗替(3級 B種) ※管の掴み金物は特記のみ【取替】とする
E-3 東西外壁面 (タイル貼)	既存	モルタル下地、小口平タイル貼(108×60)	⑤-2 東西面 塩ビ面 (管、盤他)	既存	V P塗	⑤-1 南北面 塩ビ面 (管、盤他)		既存	V P塗
	改修	既存のまま		改修	※管の掴み金物のみ特記により【取替】とする			改修	※管の掴み金物のみ特記により【取替】とする



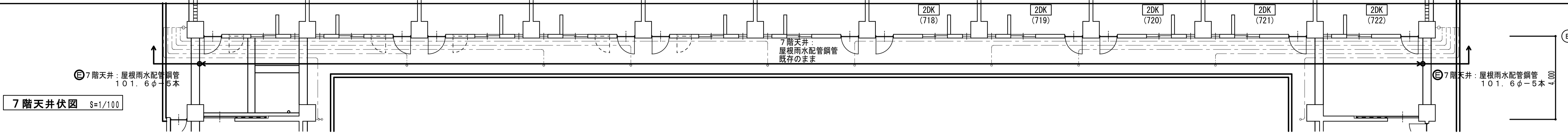
1階平面図 S=1/100

記 事 欄					〒82-0035 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001 株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号</small>		設計 担当 製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	図面名称 1階平面図							縮尺 1/100(A) 1/200(B)	図面番号 A-11

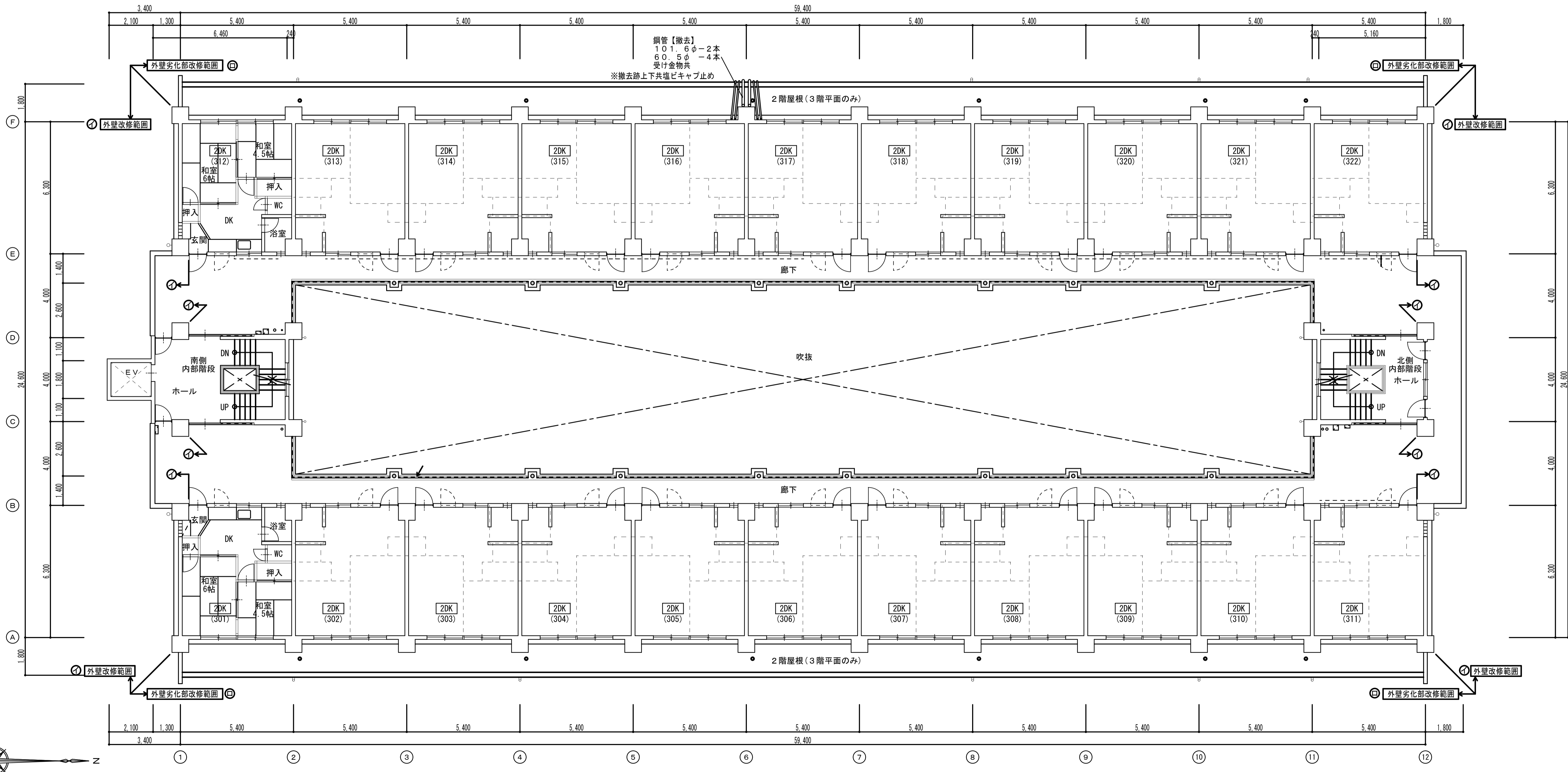


2階平面図 S=1/100

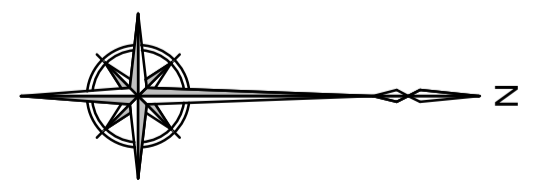
記 号				〒82-005 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001 株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号</small>	設計 担当 製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	図面名称 2階平面図					縮尺 1/100(A) 1/200(B)	図面番号 A-12



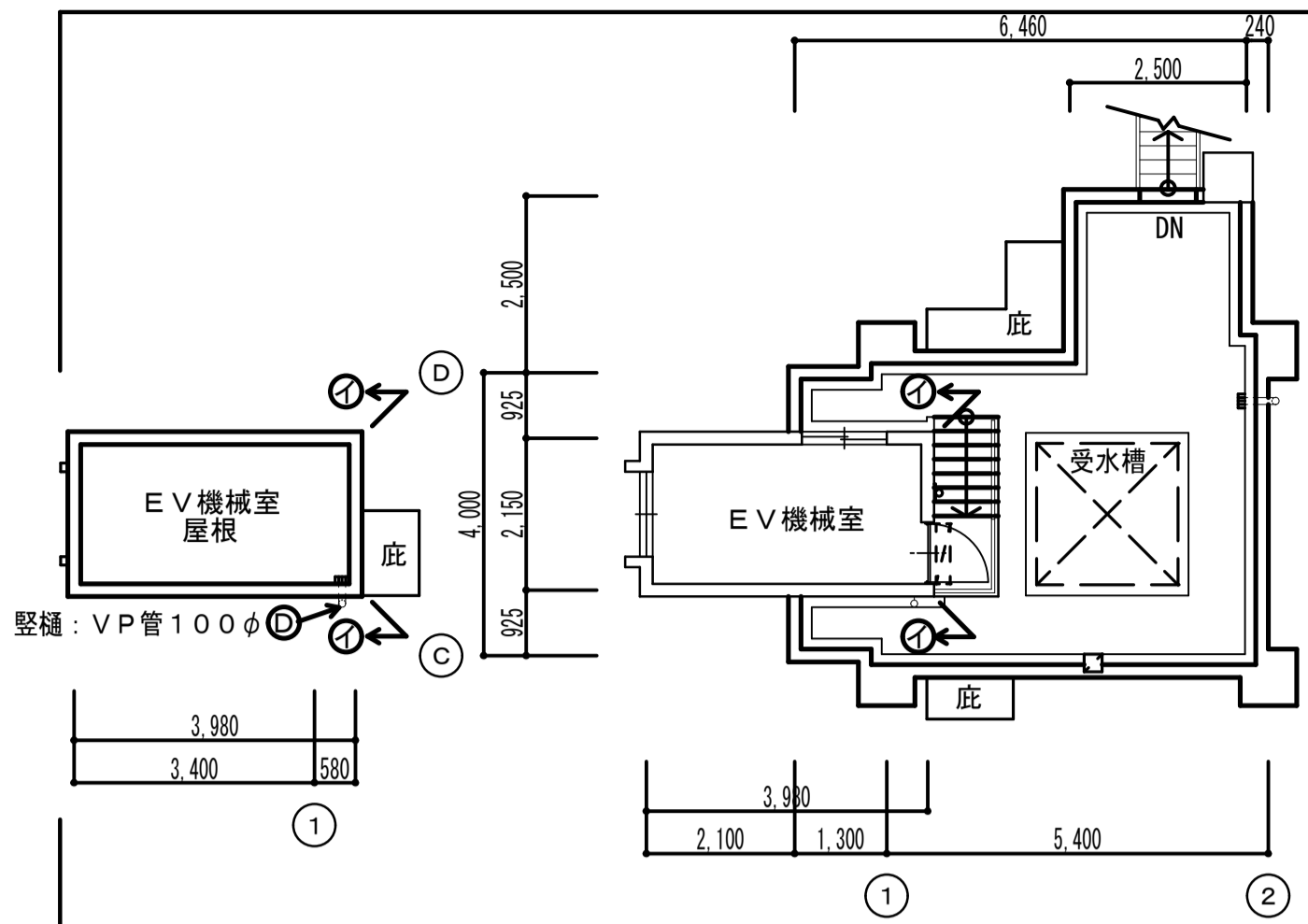
7階天井伏図 S=1/100



3~7階平面図 S=1/100

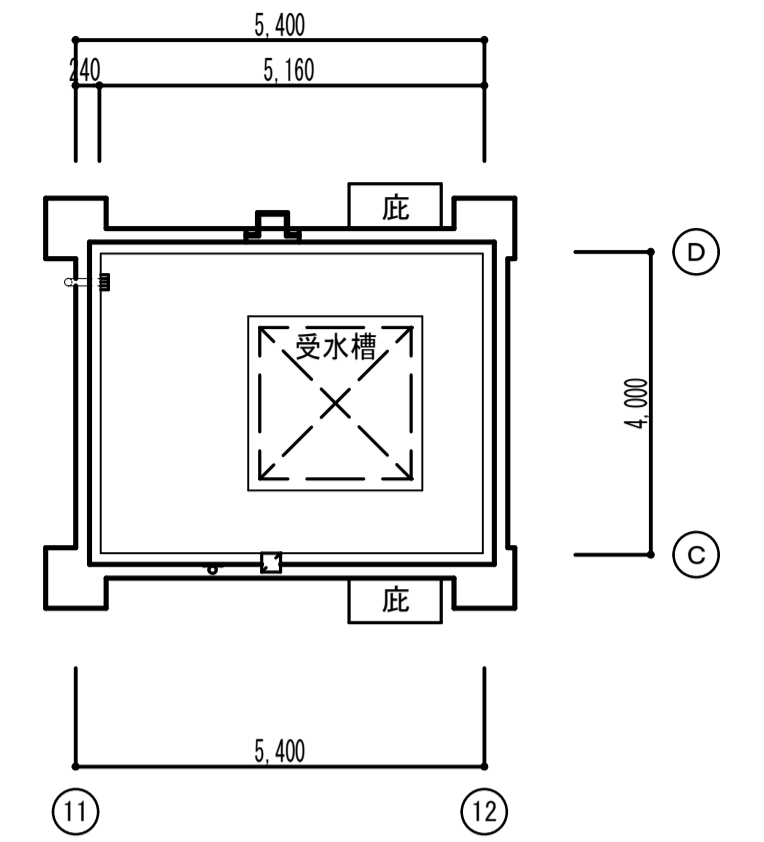


記 号 欄					〒82-005 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001 株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建設大臣登録番号 第209902号</small>	設計 担当 製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	図面名称 3~7階平面図						縮尺 1/100(A) 1/200(B)	図面番号 A-13

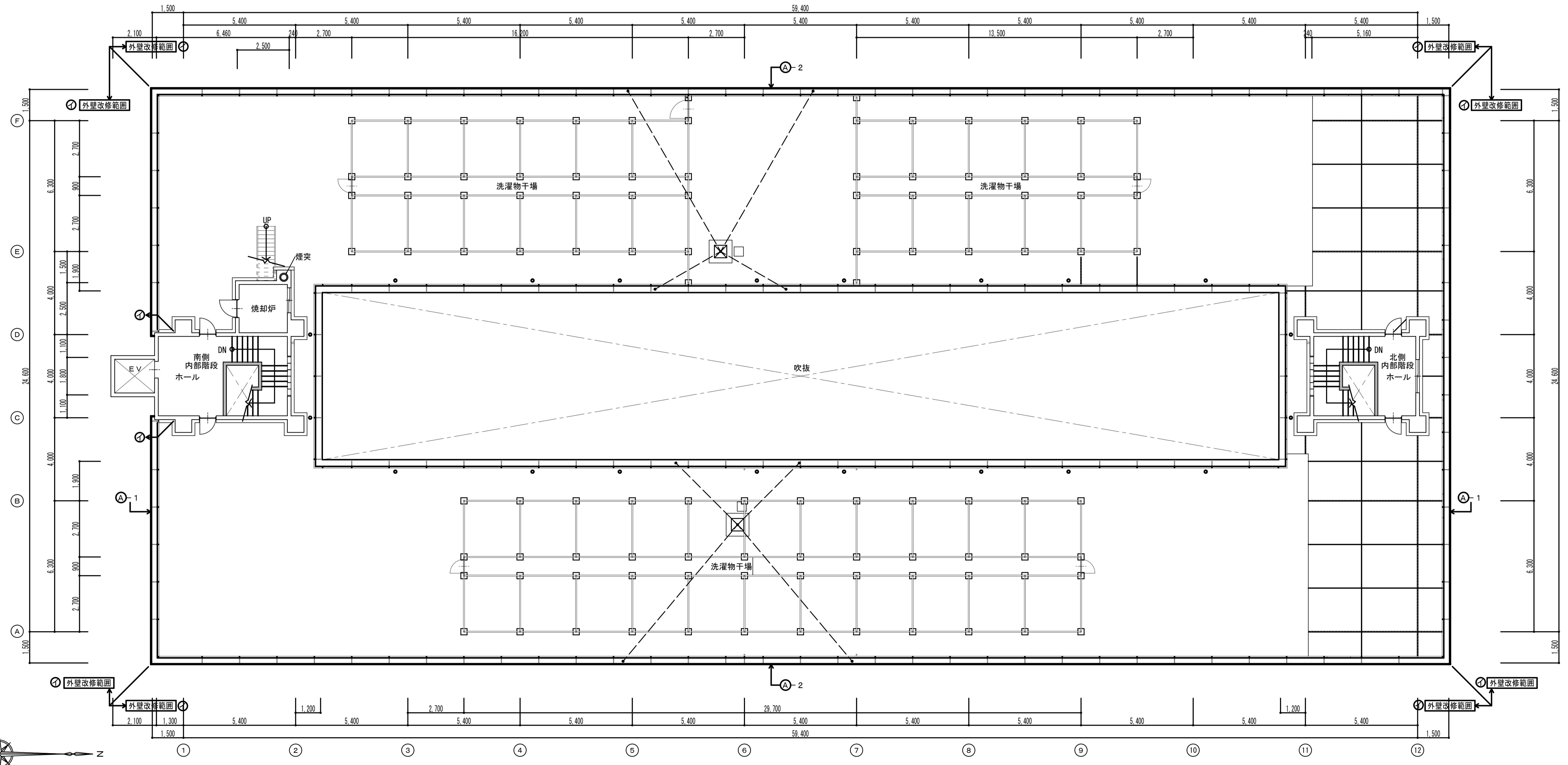


機械室伏図 S=1/100

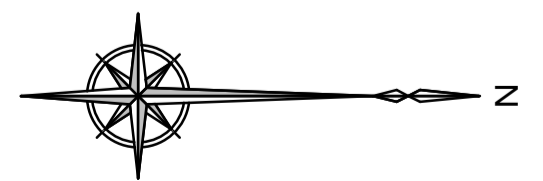
南側搭屋伏図 S=1/100



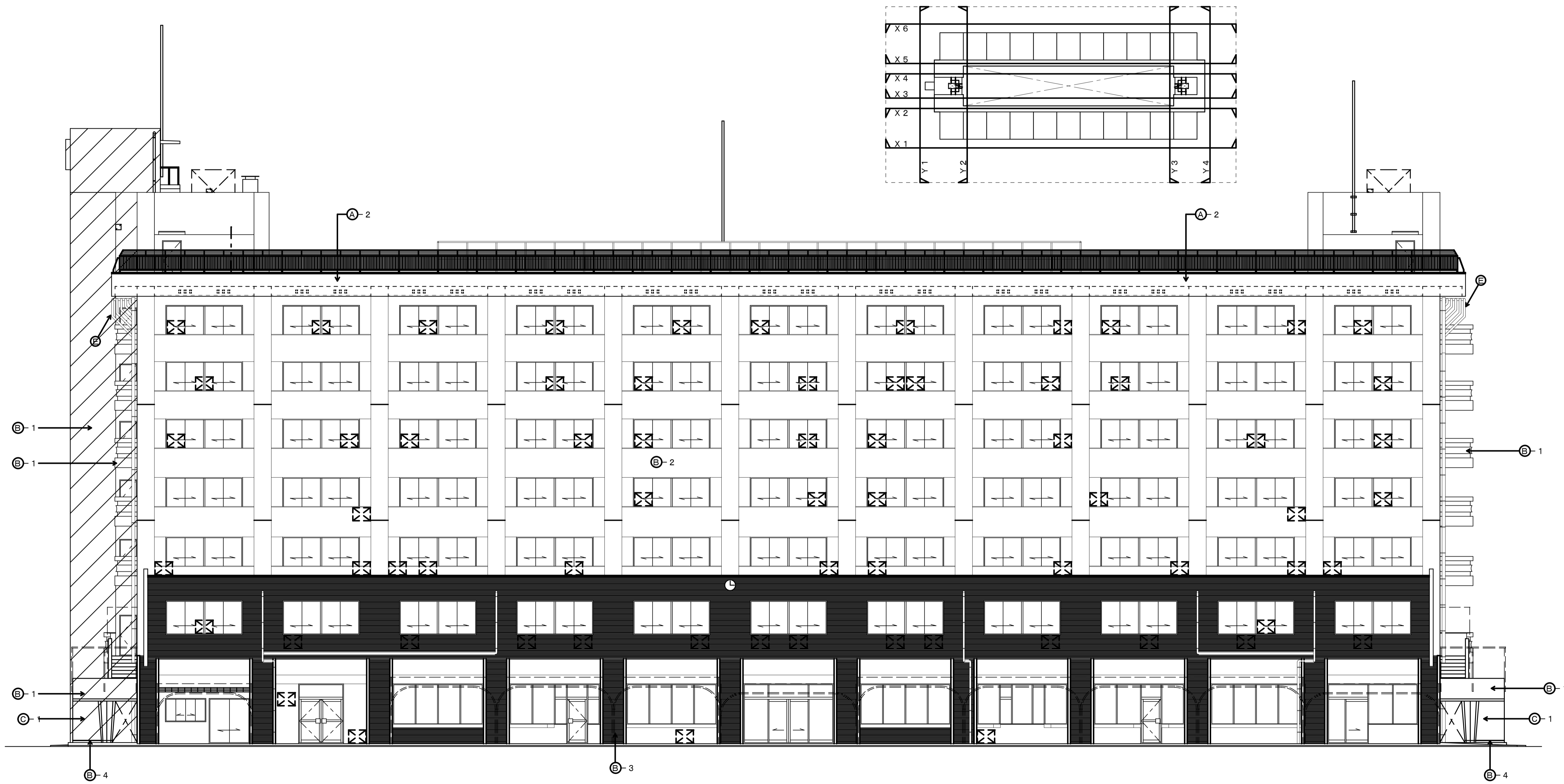
北側搭屋伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100



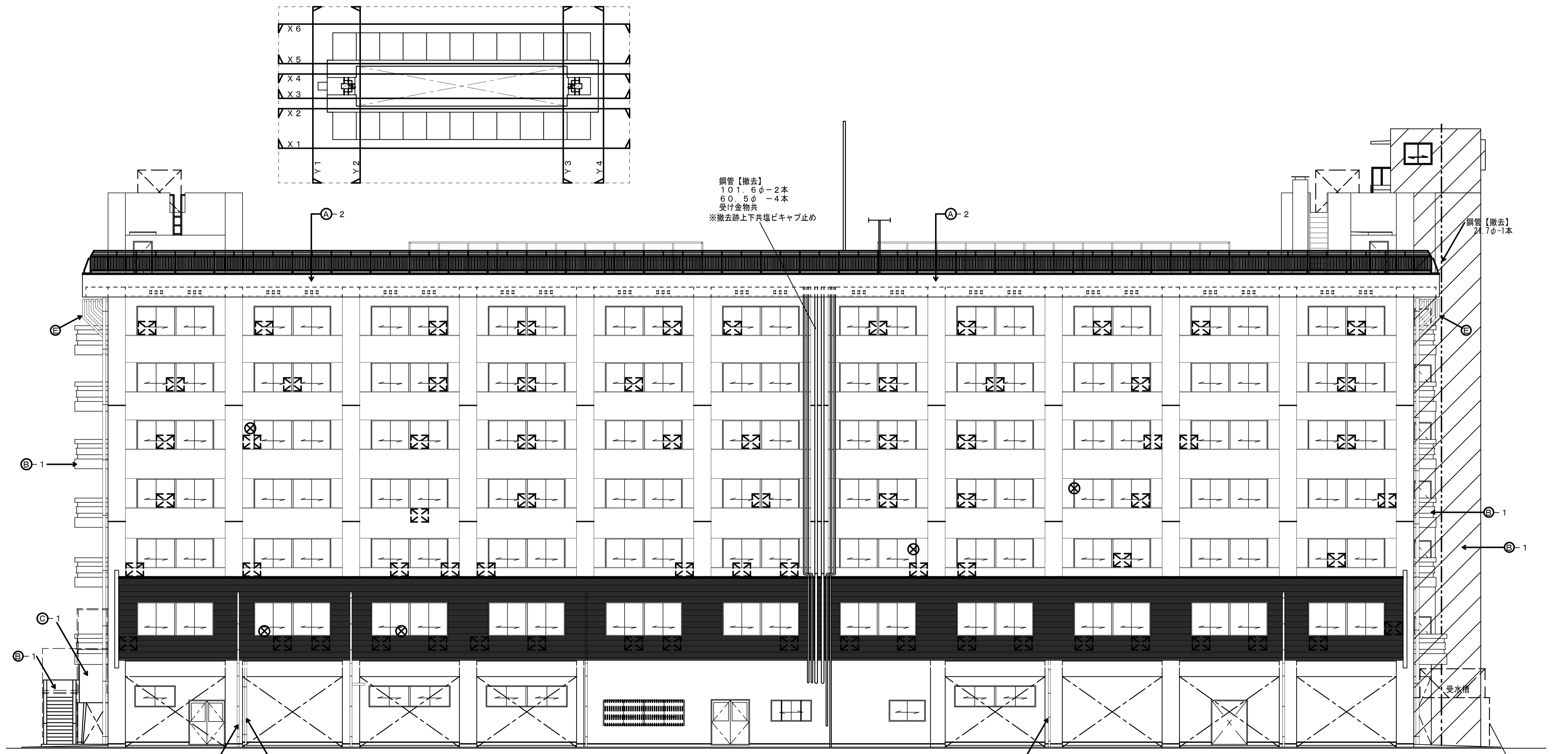
記 事	〒82-0035 長崎市油木町15番11号 TEL(095)942-5001		設計 担当	製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号</small>			図面名称 屋根伏図、搭屋伏図	縮尺 1/100(A1) 1/200(A3)	図面番号 A-14



東側立面図 S=1/100
(X1面)

☒ エアコン室外機

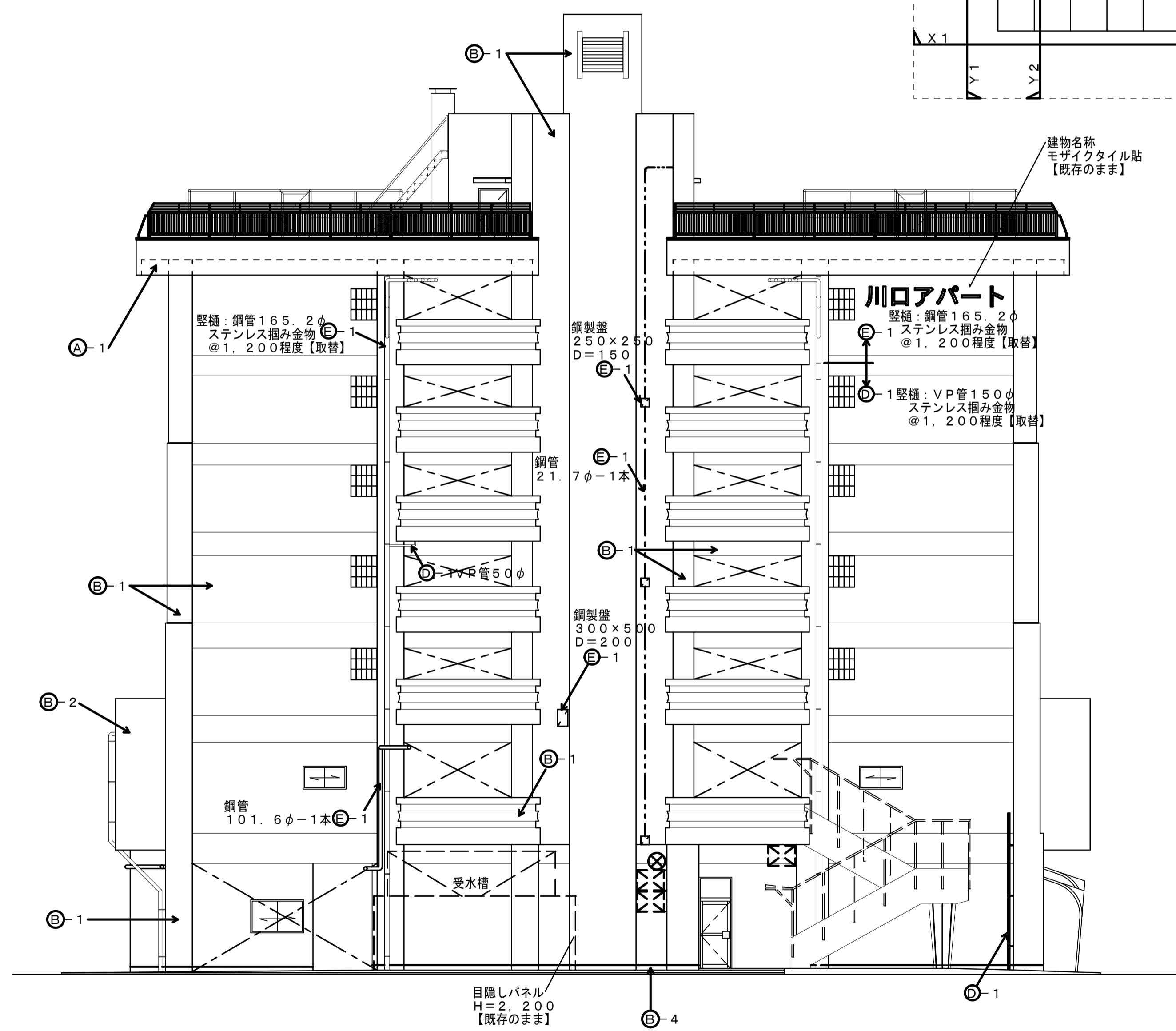
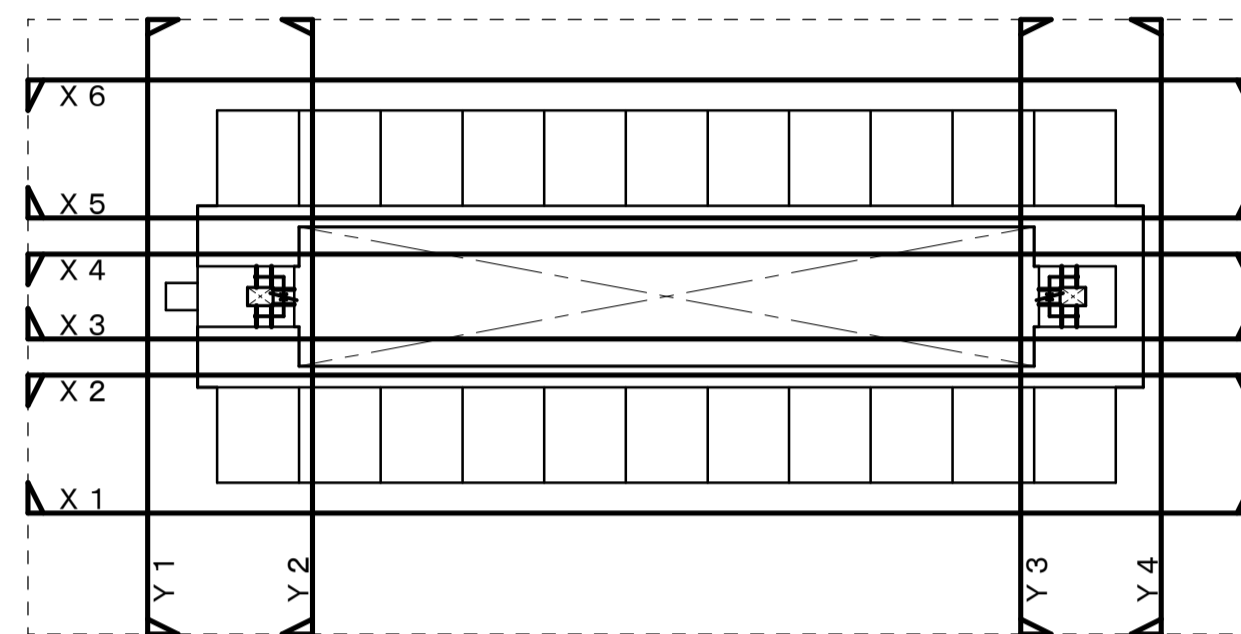
記 号				〒82-8005 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称	設計日	
								株式会社 木戸設計	川口団地外壁改修工事	H26.9.
事				一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号				図面名称	縮尺	図面番号
								東側立面図(X1面)	1/100(A) 1/200(B)	A-15



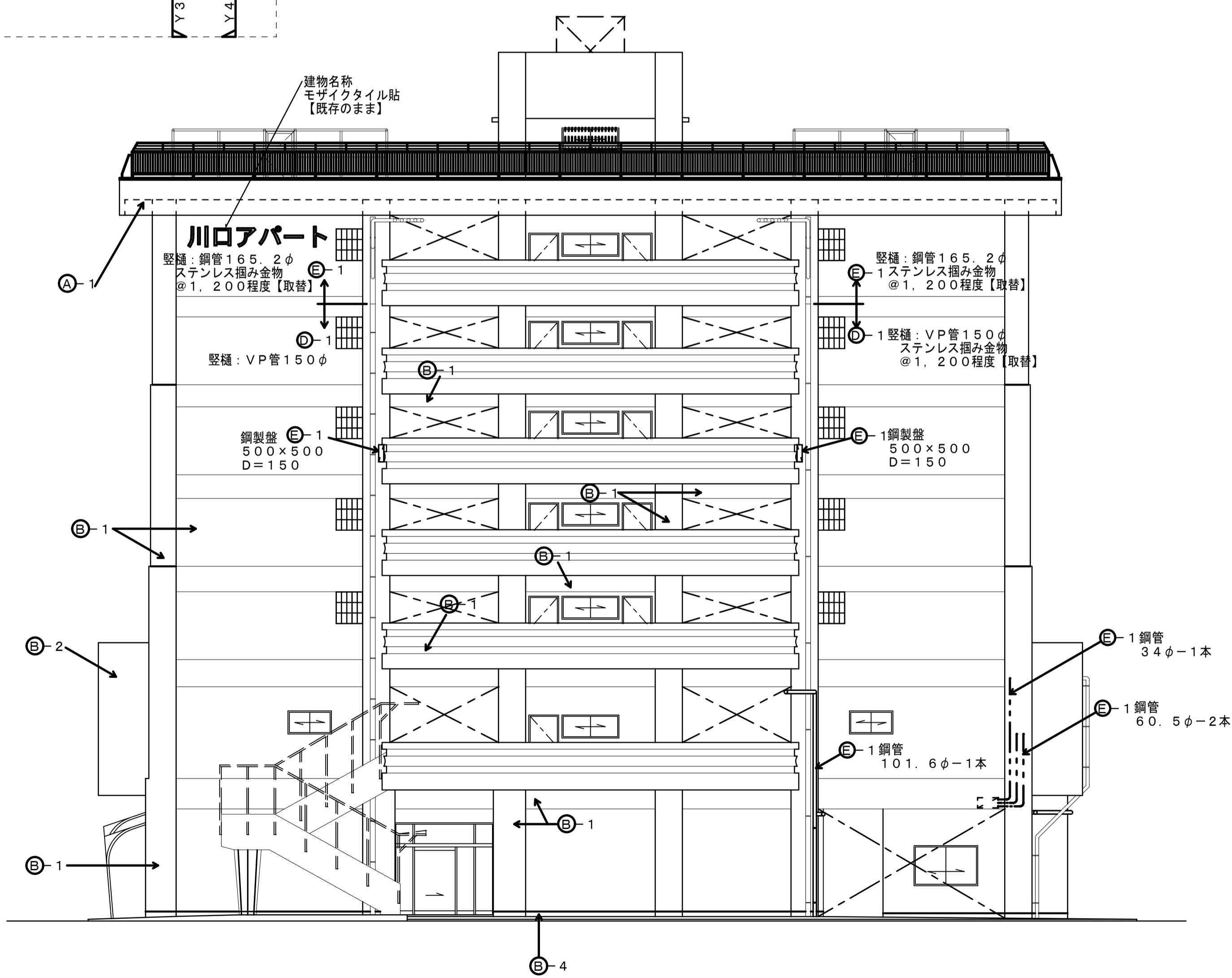
西側立面図 S=1/100
(X6面)

⊗: パラボラアンテナ
⊠: エアコン室外機

記			〒82-8035 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	株式会社 木戸設計							
事			一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号					



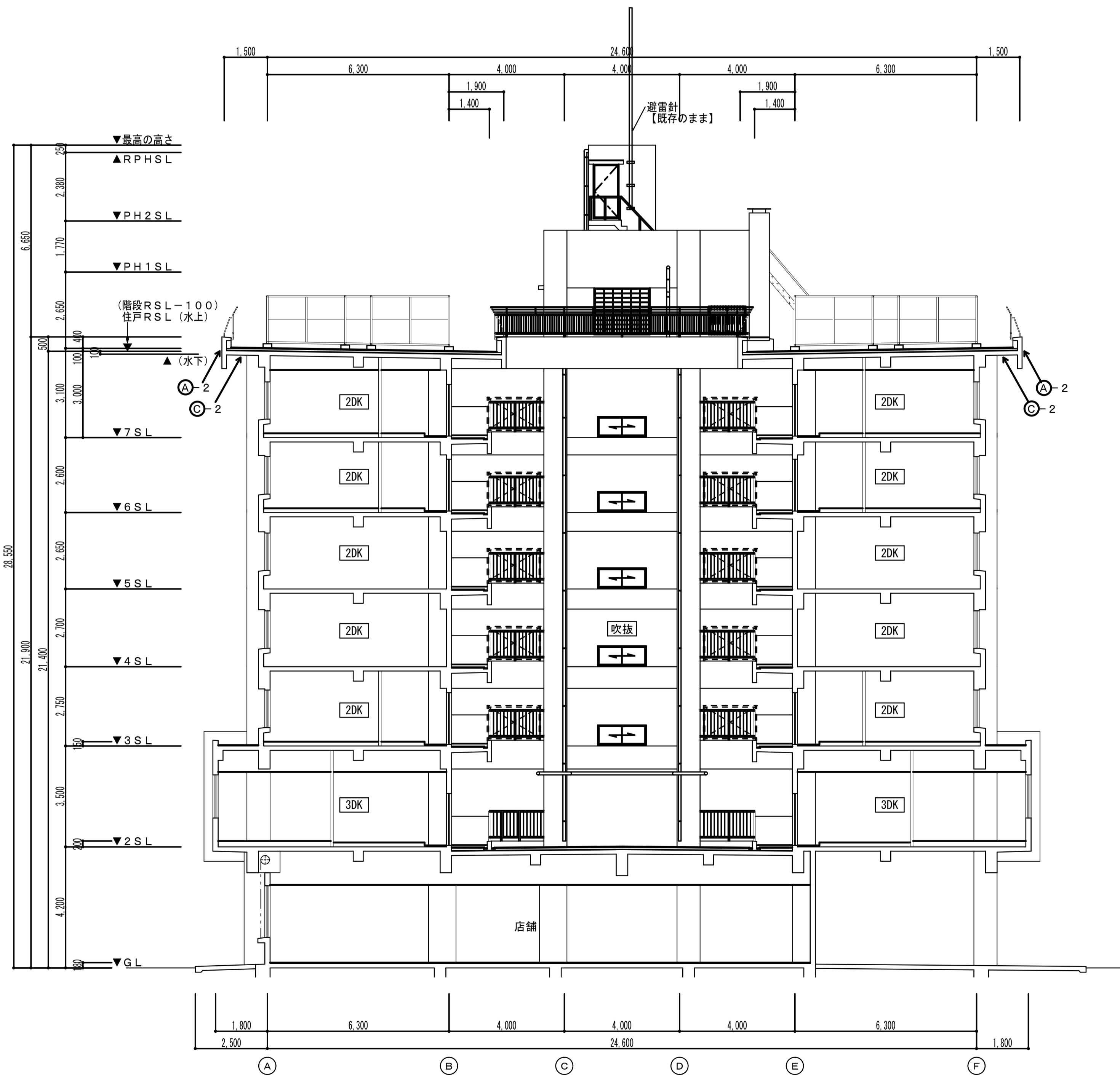
南側立面図 S=1/100
(Y1面)



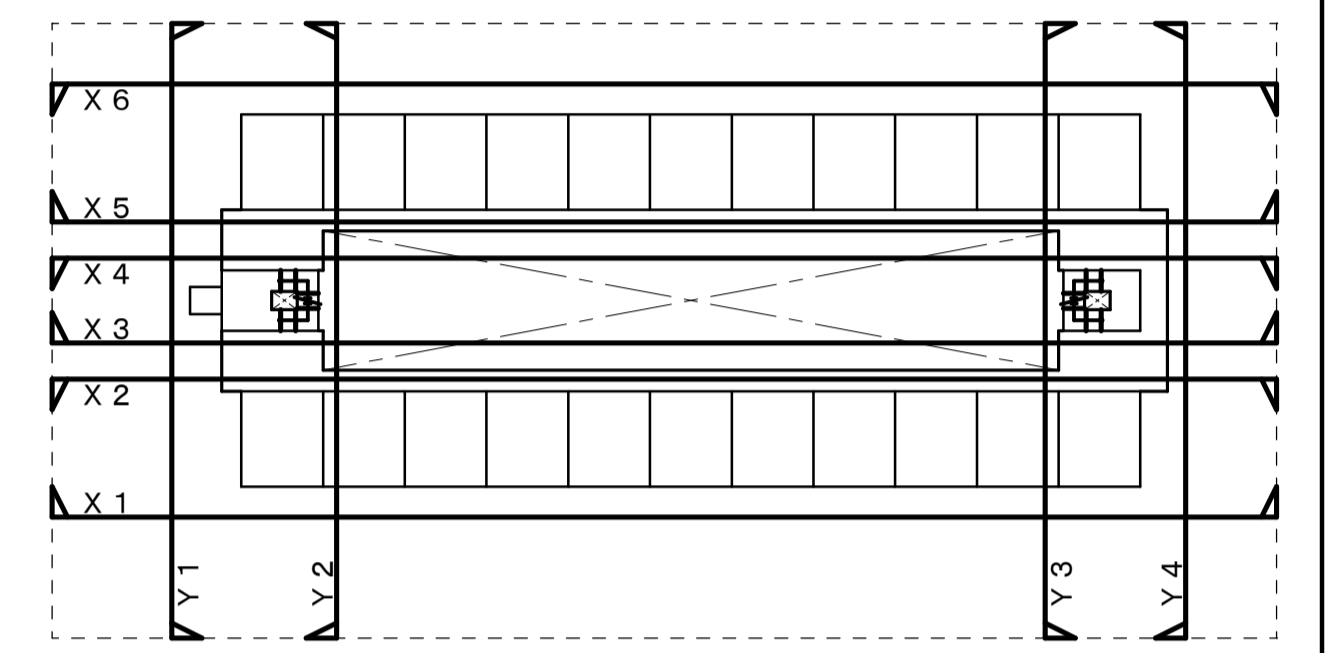
北側立面図 S=1/100
(Y4面)

- ⊗: パラボラアンテナ
- ☒: エアコン室外機【一時移動、保管の上再取付】

記				〒82-005 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称	川口団地外壁改修工事	設計日	H26.9.	
	株式会社 木戸設計				第一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一般建築士 木戸 九洲男 建設大臣登録番号 第209902号			図面名称	南側・北側立面図(Y1・Y4面)	縮尺	1/100(A) 1/200(B)	図面番号

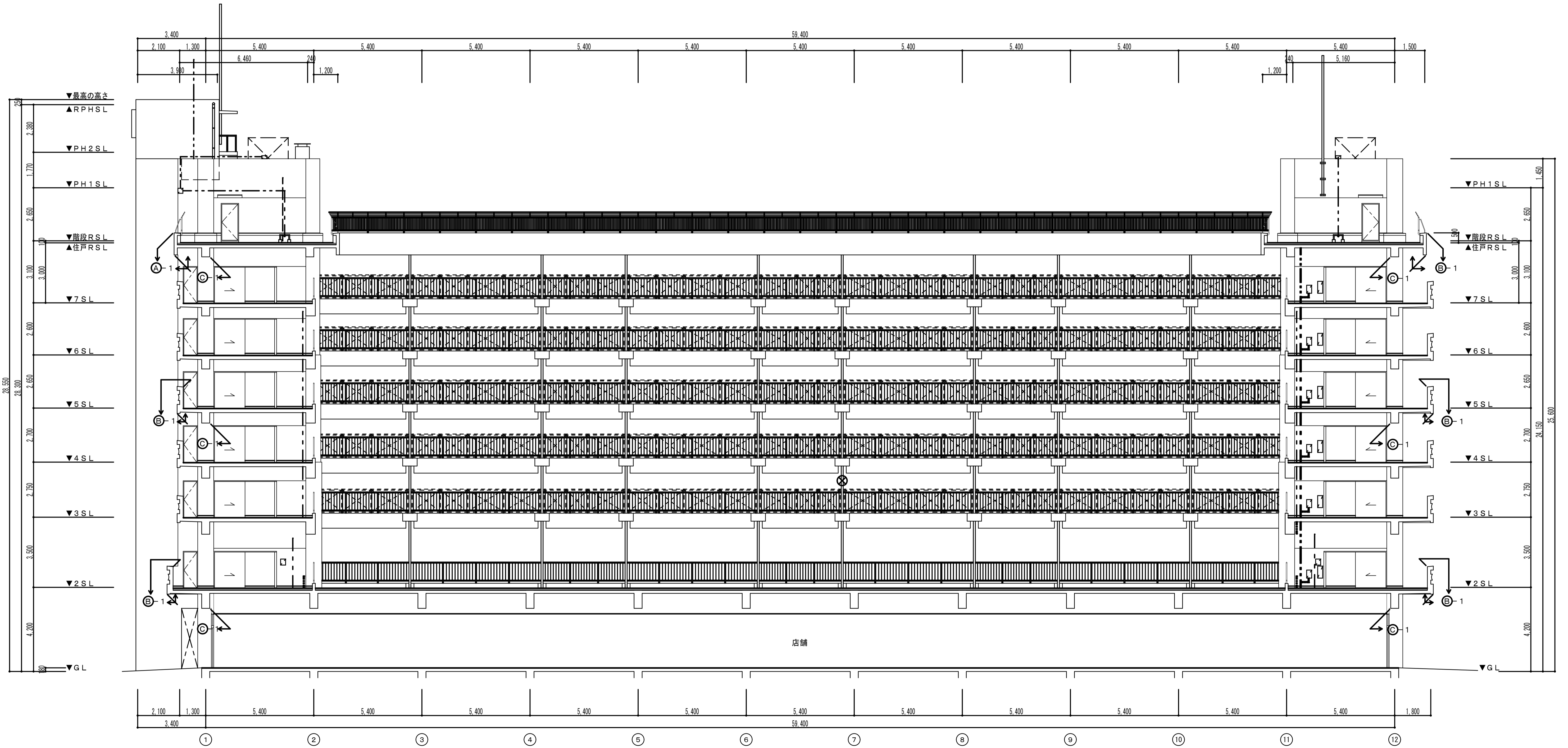


Y方向断面図 S=1/100
(Y2面)



記					
事					

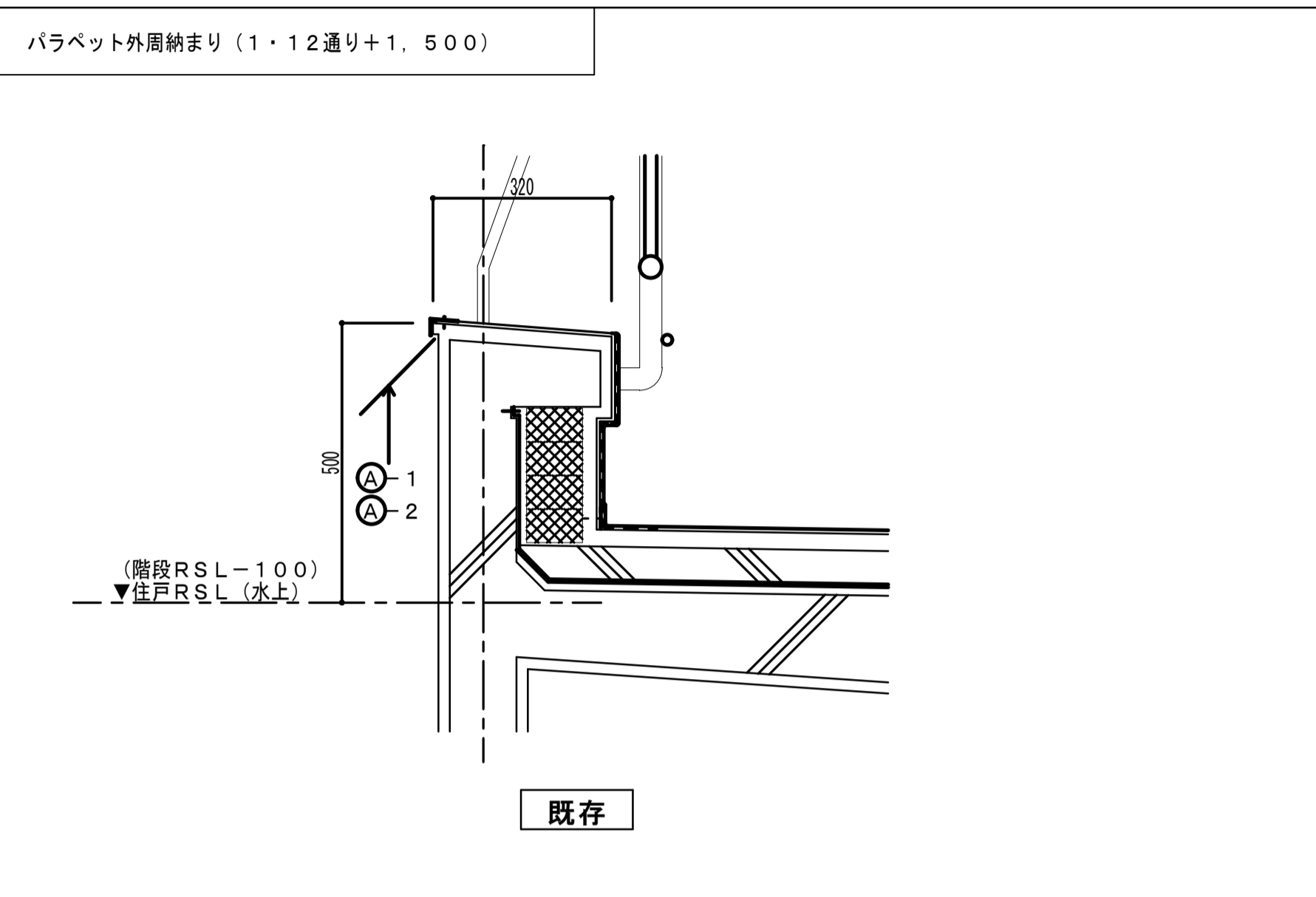
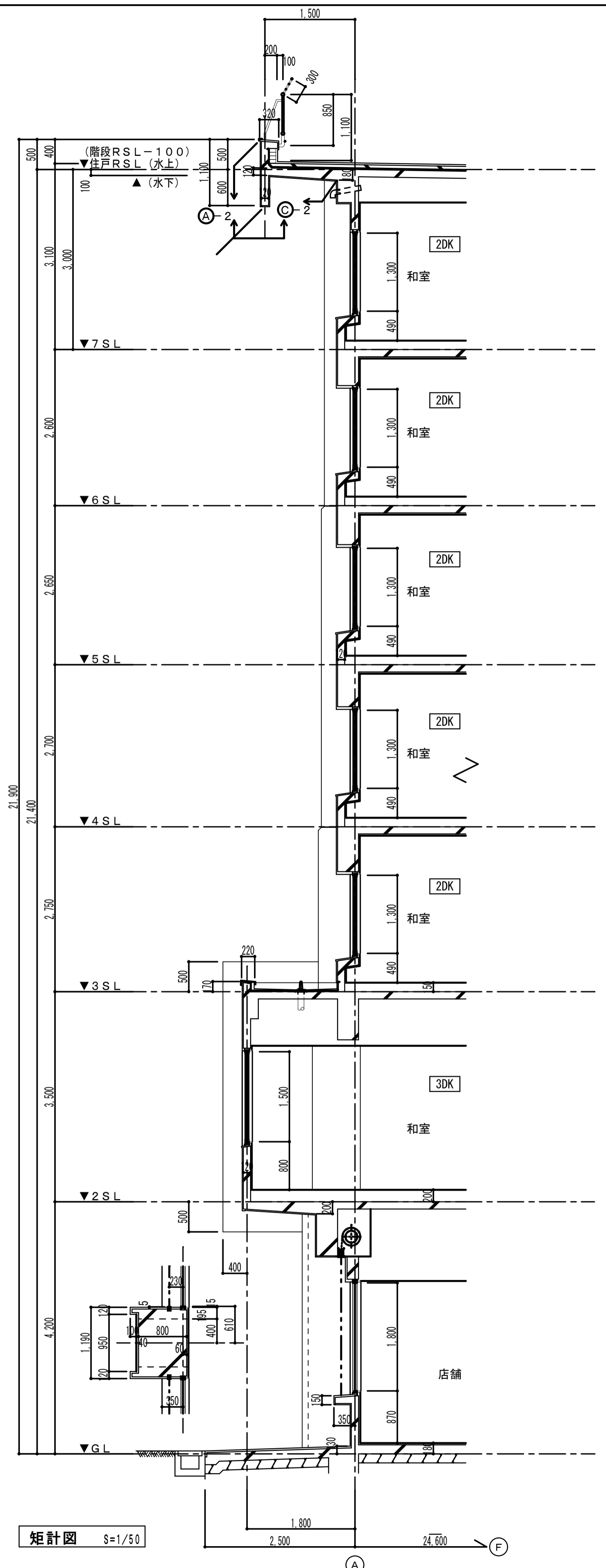
〒82-0035 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001		設計	担当	製図	工事名称	設計日
株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建設大臣登録番号 第209902号</small>					川口団地外壁改修工事	H26.9.
					図面名称	図面番号
					Y方向断面図	A-18
					縮尺	1/100(A) 1/200(B)



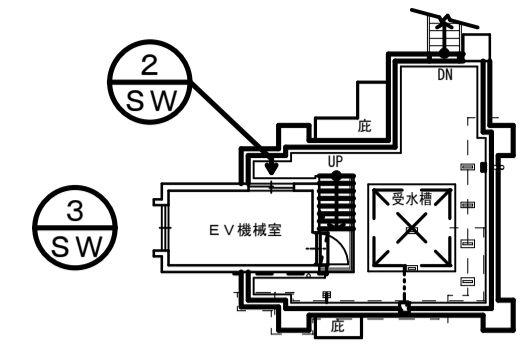
外壁展開図 S=1/100
(X 3面)

⊗ : パラボラアンテナ

記				〒82-8035 長崎市油木町15番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26. 9.
事									

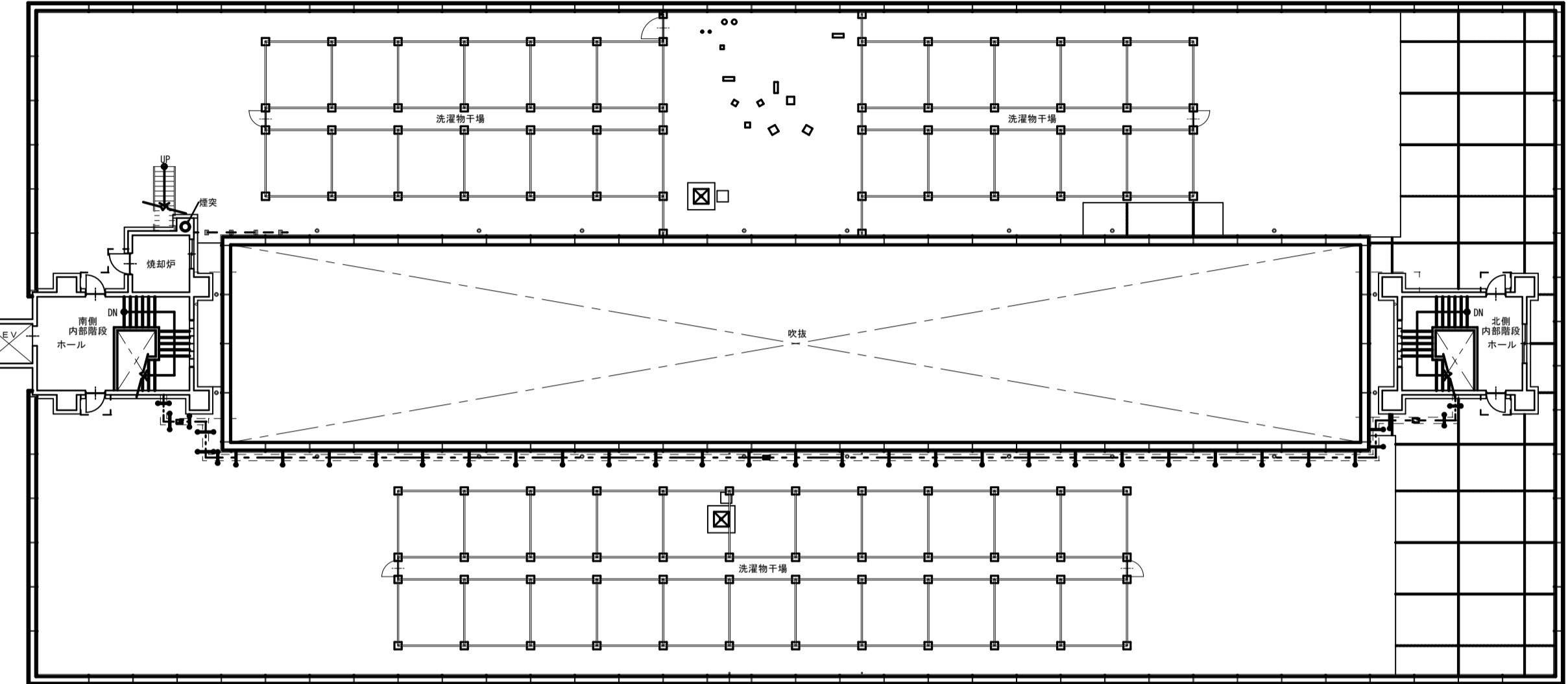


記				〒82-0205 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称 川口団地外壁改修工事	設計日 H26.9.
	株式会社 木戸設計								図面名称 矩計図
#				一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号					
				一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号					

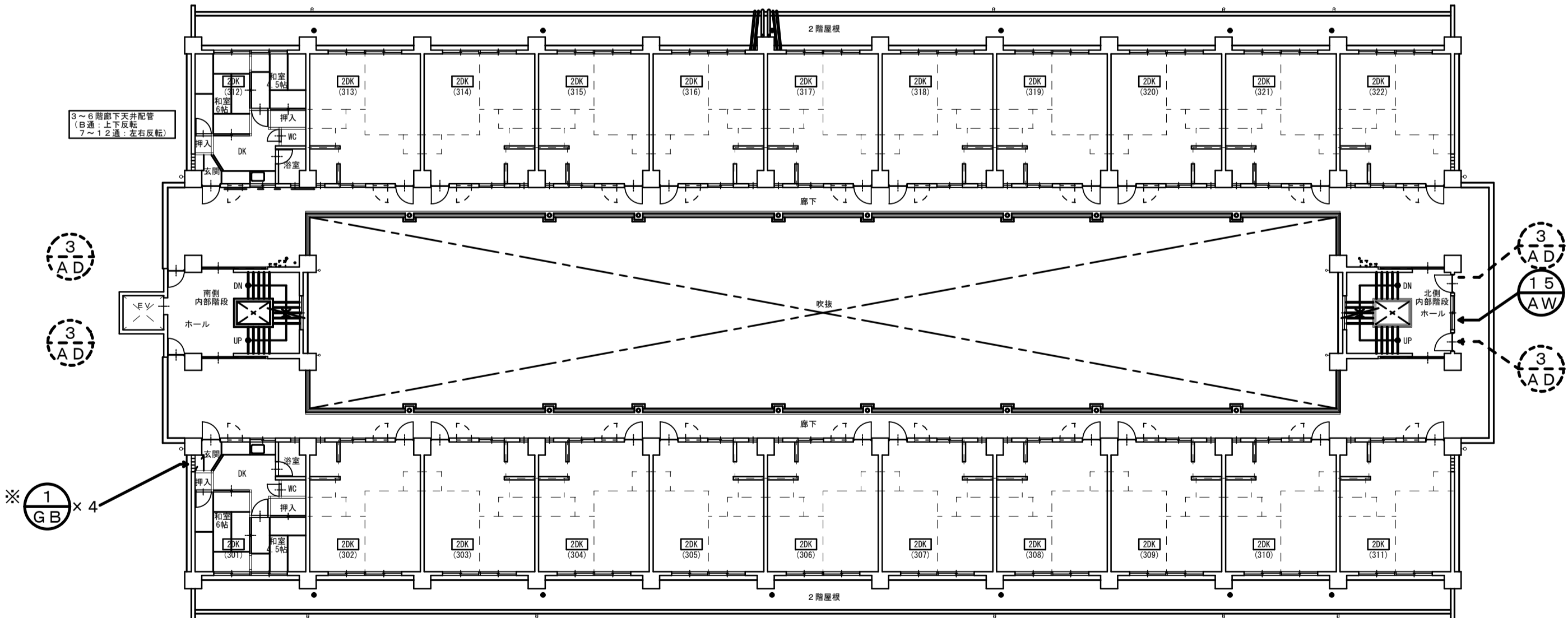


○ : 既存建具を示す
 ○ (虚線) : 【既存のまま】・【工事外】の建具を示す

南塔屋 S=1/200

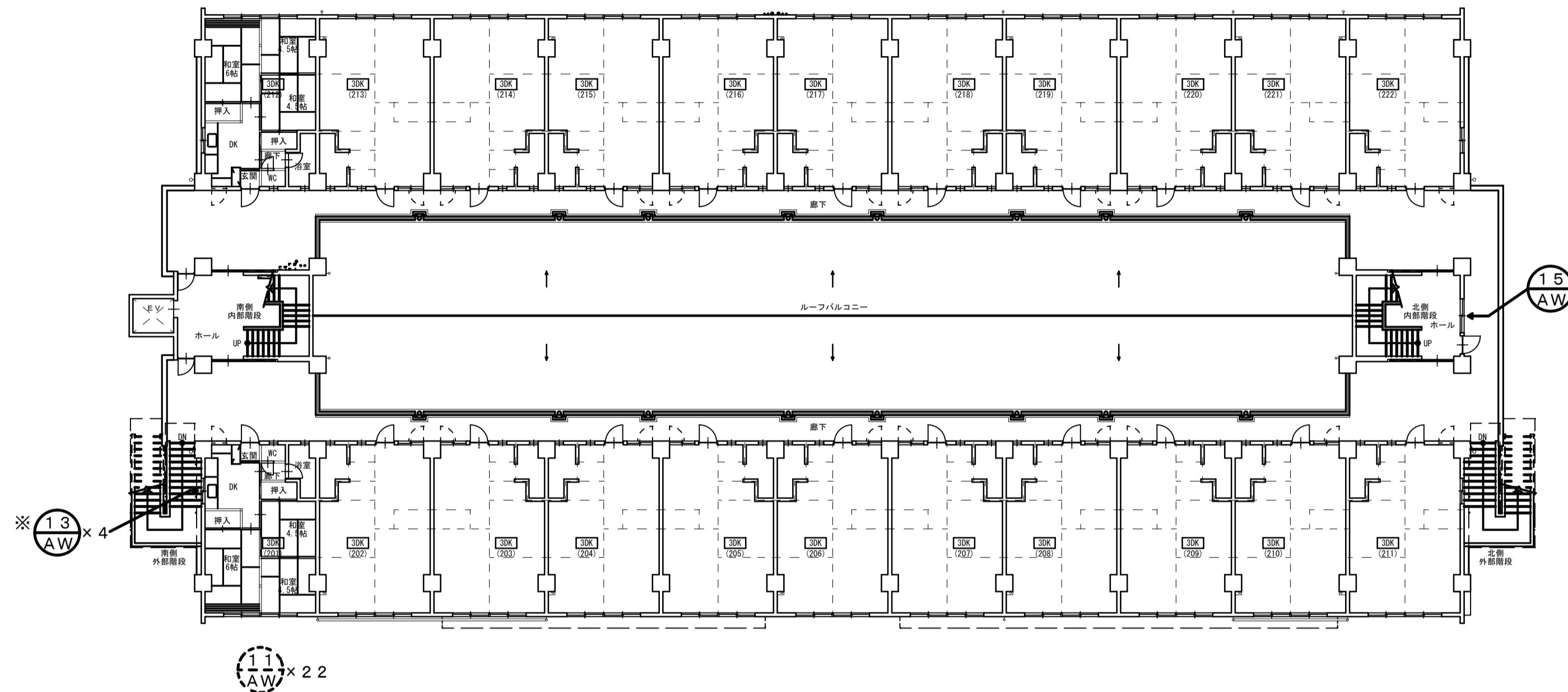


屋根 S=1/200

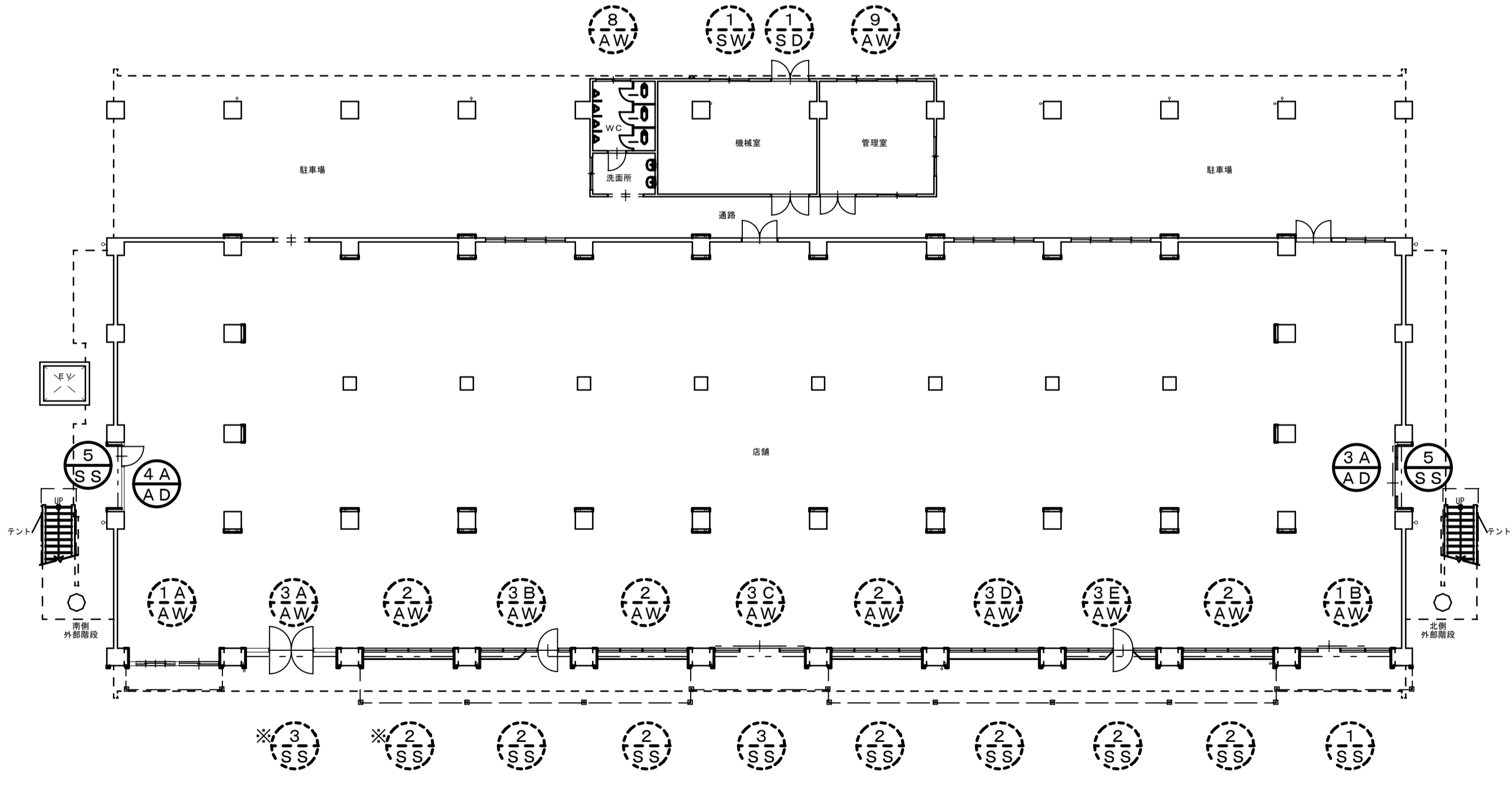


3~7階 S=1/200

○ × 数量 ← 1階分の数量





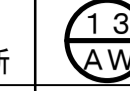

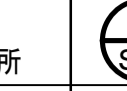
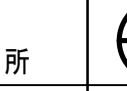
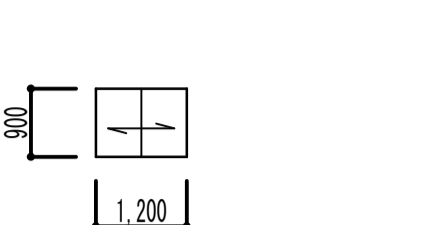
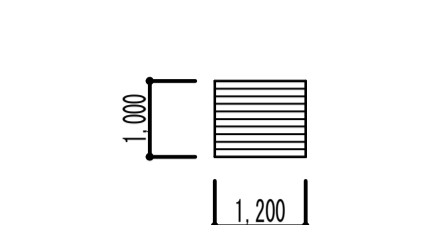
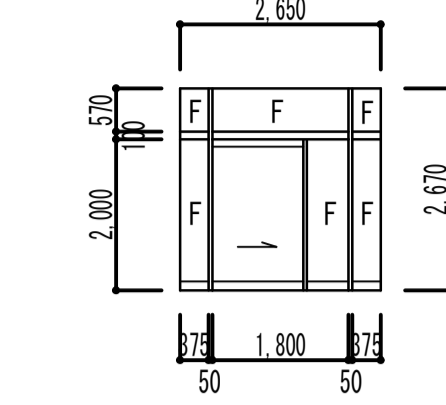
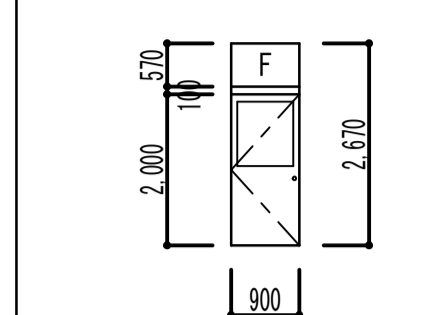
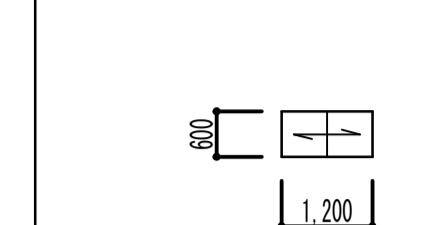
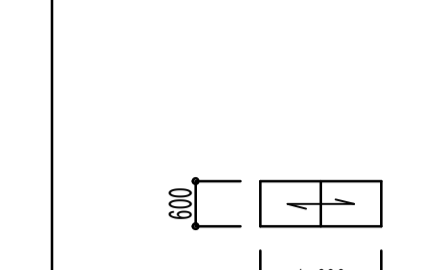
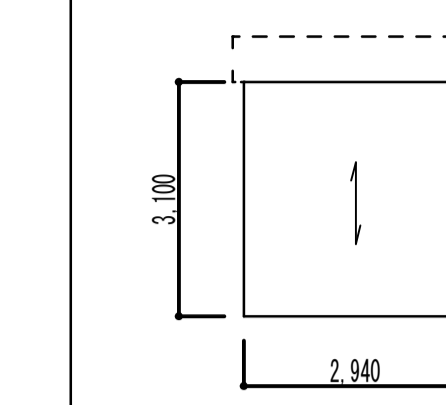
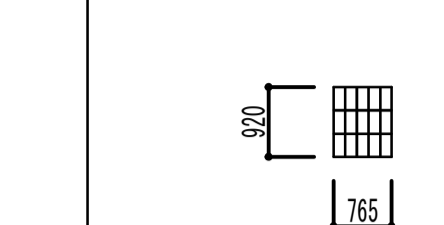



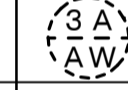
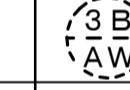
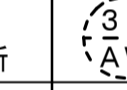
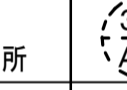
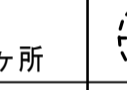
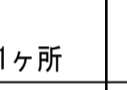
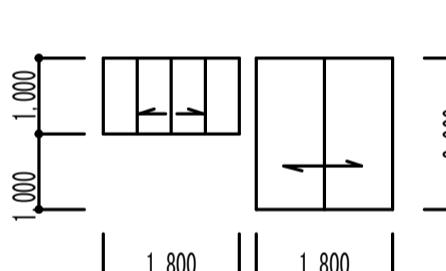
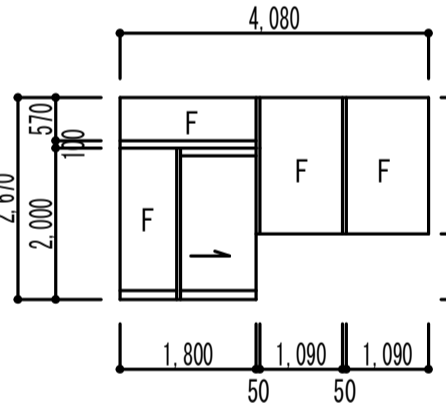
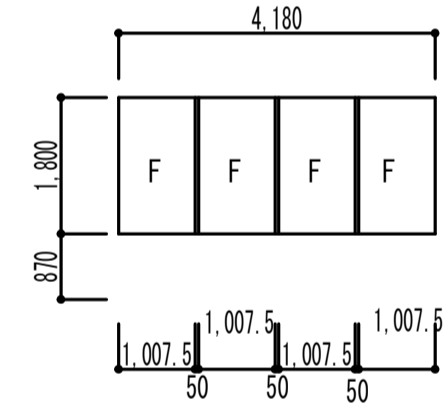
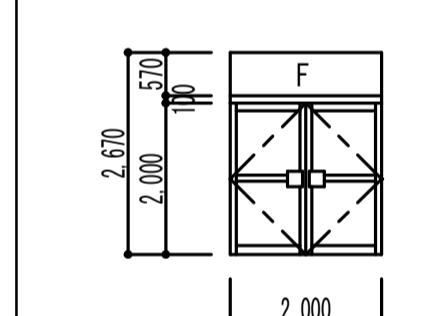
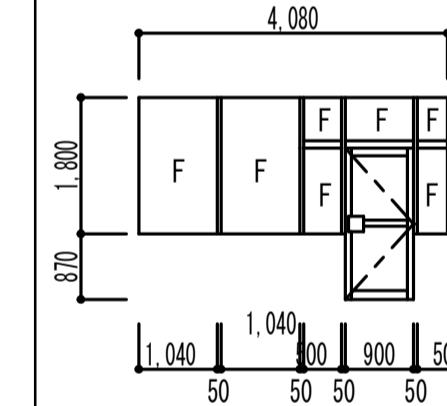
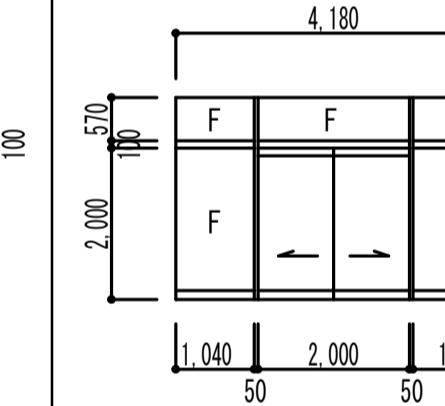
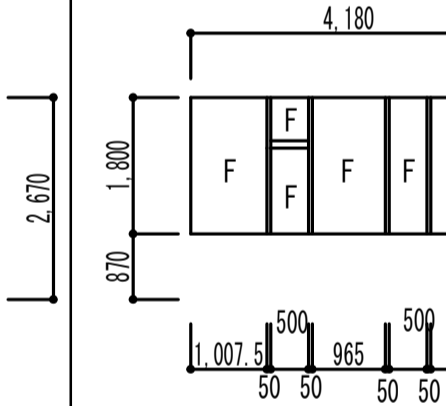
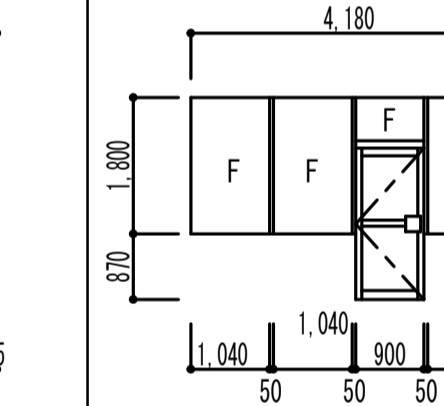
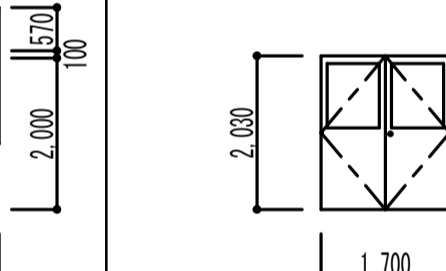




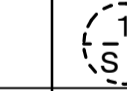
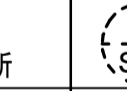
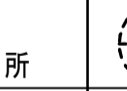
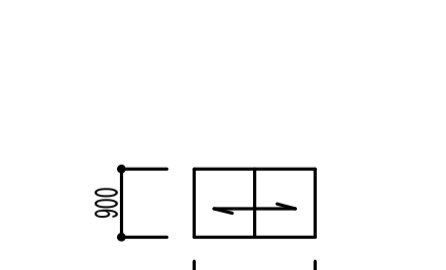
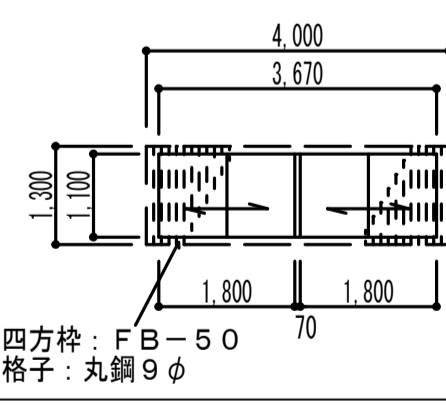
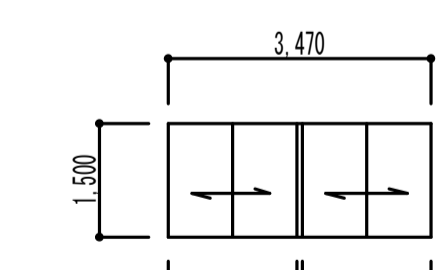
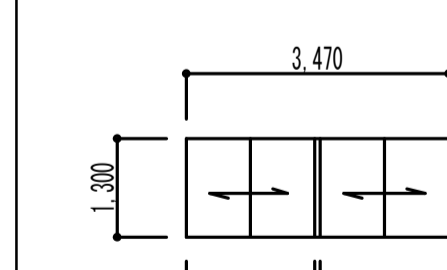
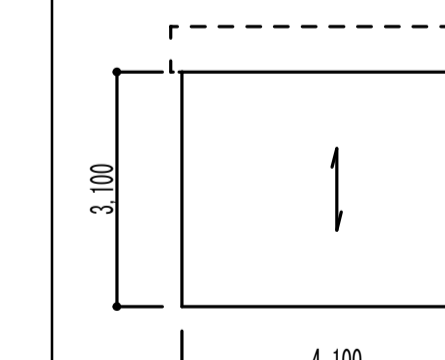
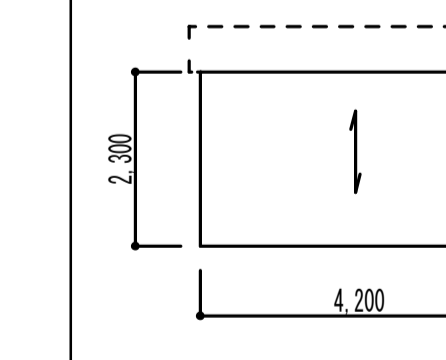
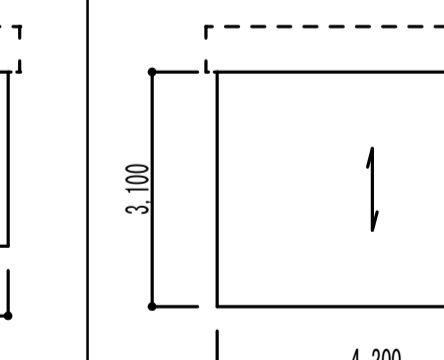


2階 S=1/200

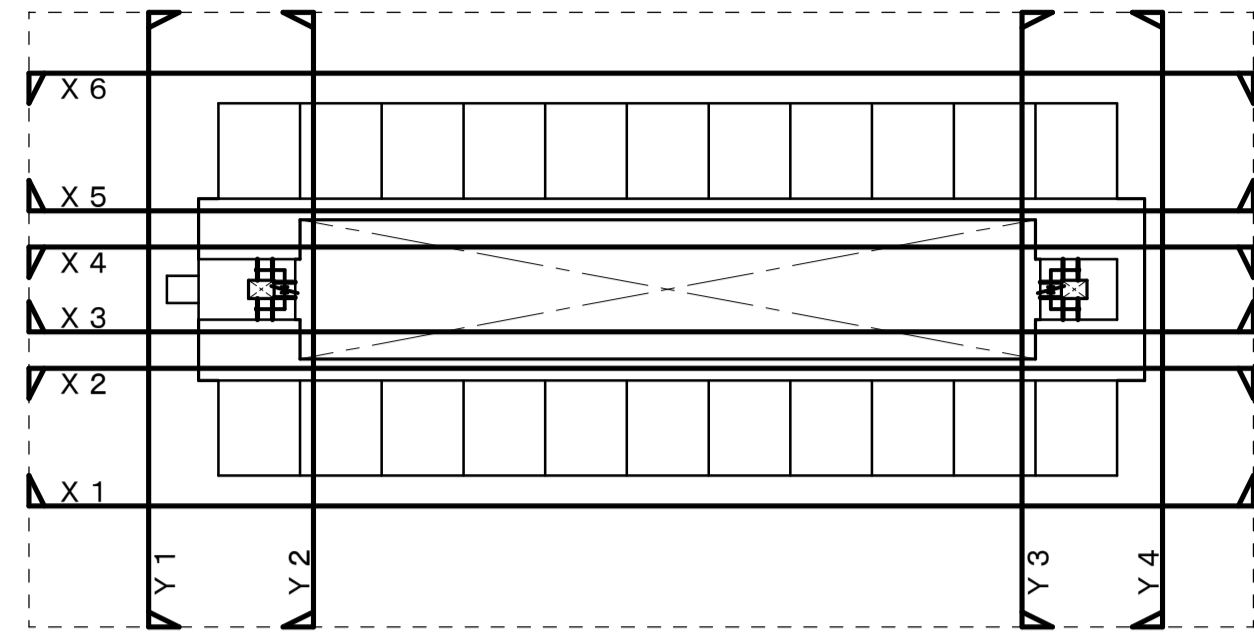


1階 S=1/200

記 事				〒82-8035 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001	設計	担当	製図	工事名称	川口団地外壁改修工事	設計日	H26.9.
				株式会社 木戸設計				図面名称	建具平面図	図面番号	A-21
				一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建築大臣登録番号 第209902号				縮尺	1/200(A) 1/400(B)		

符号	 EV機械室 1ヶ所	 機械室 搭屋 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 住戸 2階 4ヶ所	 内部階段 2~7階 6ヶ所	 店舗 1階 2ヶ所	 住戸 3~7階 4×5階=20ヶ所			
図											
既 存	引き違い鋼製窓 SOP塗	固定鋼製ガラリ SOP塗	FIX付片引きスチール製自動ドア	FIX付片引きスチール製フラッシュドア	引き違いスチール製窓	引き違いスチール製窓	電動鋼製シャッター SOP塗	ガラスブロック 145×300×95 5列3段			
改 修	両面・枠共 下地調整 (RB種) +DP塗替 (3級 B種) 鋼製格子【塗替】 下地調整 (RB種) +DP塗替 (3級 B種) 建具廻りシーリング 10×10 変成シリコン系 (MS-2) 【打替】	両面・枠共 下地調整 (RB種) +DP塗替 (3級 B種)	建具廻りシーリング 10×10 変成シリコン系 (MS-2) 【打替】	建具廻りシーリング 10×10 変成シリコン系 (MS-2) 【打替】	建具廻りシーリング 10×10 変成シリコン系 (MS-2) 【打替】	【既存のまま】	鋼製格子【塗替】 下地調整 (RB種) +DP塗替 (3級 B種) 建具廻りシーリング 10×10 変成シリコン系 (MS-2) 【打替】	両面・枠共 …1ヶ所 下地調整 (RB種) +DP塗替 (3級 B種)			
符号											
図											
既 存											
改 修											
符号	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 4ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 1ヶ所	 機械室 1階 1ヶ所		
図											
既 存	引き違いスチール製ドア、引き分け窓	FIX付片引きスチール製自動ドア	FIX4連スチール製窓	FIX付両引きスチール製扉ドア	FIX付片引きスチール製扉ドア	FIX付引き分けスチール製自動ドア	FIX5連スチール製窓	FIX付片引きスチール製扉ドア	両引き鋼製フラッシュドア	通路側1ヶ所【既存のまま】	
改 修	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】	
符号	 WC 1階 1ヶ所	 管理室 1階 1ヶ所	 住戸 2階 22ヶ所	 住戸 3~7階 22×5階=110ヶ所		 店舗 1階 1ヶ所	 店舗 1階 7ヶ所	 店舗 1階 2ヶ所			
図											
既 存	引き違いスチール製窓	2連引き違いスチール製窓	2連引き違いスチール製窓	2連引き違いスチール製窓		電動鋼製シャッター	電動鋼製シャッター	電動鋼製シャッター			
改 修	【工事外】	【工事外】	【工事外】	【工事外】		【工事外】	【工事外】	【工事外】			

<p>工法1：アンカーピンニング部分注入工法</p> <p>A. 外壁改修工事 一般部分：改修数量 2.5㎡ (※設計変更対応) 一般タイル部分：改修数量 1.0㎡ (※設計変更対応) 狭巾部分：改修数量 2.0㎡ (※設計変更対応)</p> <p>工法断面図 標準配置グリッド</p>	<p>工法2：モルタル浮き部はつり補修工法 A. 外壁改修工事 改修数量 7.5㎡ (※設計変更対応)</p> <p>改修前 改修後</p> <p>周辺のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切ってはつり撤去する</p>	<p>工法3：欠損部軽量モルタル塗り工法 A. 外壁改修工事 欠損部軽量モルタル塗り工法 ケ所 (※設計変更対応)</p> <p>改修前 改修後</p> <p>周辺のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切ってはつり撤去する</p>	<p>工法4：欠損部軽量モルタル充填工法 A. 外壁改修工事 改修数量 1ヶ所 (※設計変更対応)</p> <p>※欠損部の面積が1箇所あたり100×100程度</p> <p>改修前 改修後</p> <p>周辺のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切ってはつり撤去する</p>
<p>工法5-1：爆裂部軽量モルタル充填工法 (爆裂部：幅100程度) A. 外壁改修工事 改修数量 1.5㎡ (※設計変更対応)</p> <p>工法5-2：爆裂部軽量モルタル充填工法 (爆裂部：100×100程度) A. 外壁改修工事 改修数量 1.0ヶ所 (※設計変更対応)</p> <p>改修前 改修後</p> <ol style="list-style-type: none"> 脆弱部について、幅100 深さ30~50程度 研り、撤去、清掃を行う。 鉄筋の錆落としを行う。(ワイヤーブラシ等) アルカリ性珪子材で劣化面の補強をし、鉄筋については、防錆処理材を塗布する。 無収縮軽量モルタル充填 中性化防止材で面合せを行う。 	<p>工法6：Uカットシーリング材充填工法 A. 外壁改修工事 改修数量 4.0㎡ (※設計変更対応)</p> <p>⑤-2：高圧水洗浄+セメント系下地調整塗材 (C-1) カチオン系 (JIS A 6916) + アクリルゴム系壁面防水化粧材仕上 (JIS A 6021 外壁用塗膜防水材)</p> <p>改修前 改修後</p> <p>※バックアップ材は使用しない。</p>	<p>工法7：Uカットシーリング材充填工法 A. 外壁改修工事 改修数量 6.0㎡ (※設計変更対応)</p> <p>改修前 改修後</p> <p>※バックアップ材は使用しない。</p>	<p>工法8：サッシ回りコーキング打ち替え</p> <p>改修前 改修後</p>
			<p>工法9：縦樋支持バンド取替工法 図示による</p> <p>(ステンレス製 50φ、100φ、150φ、)</p> <p>改修前 改修後</p> <p>塗材浮き部</p> <p>スクレイパー除去の上、セメント系下地調整塗材C-1面合せ</p> <p>⑤ 3.0㎡</p>



㊦ 外壁改修（南北面）：全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする。

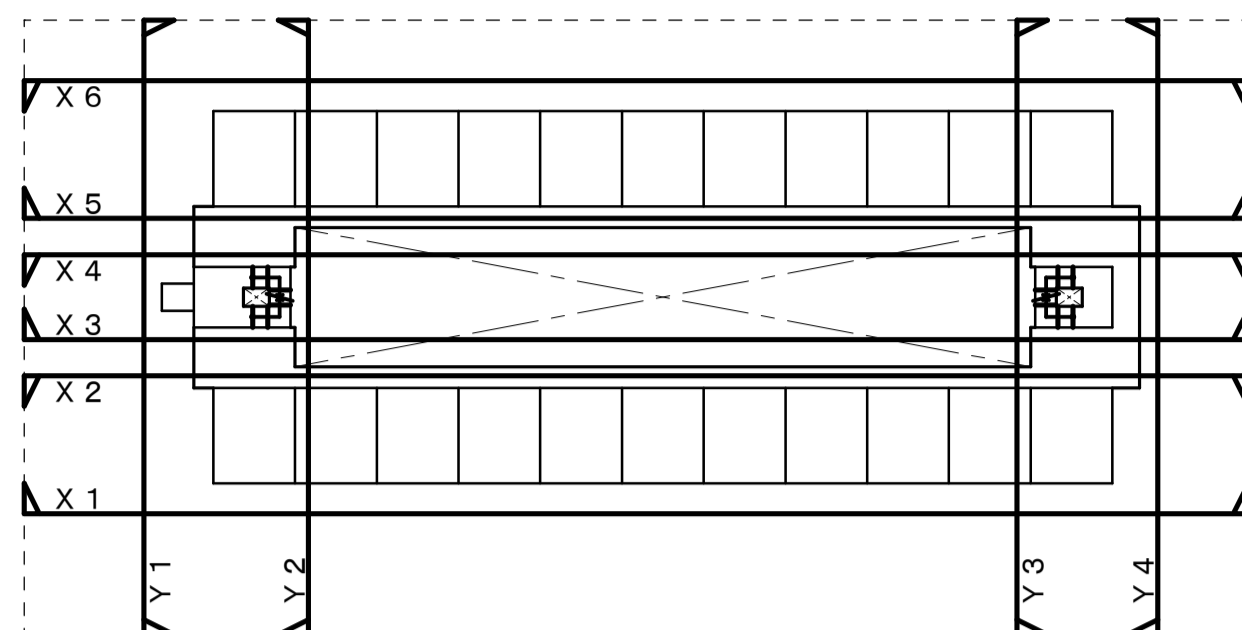
符号	図示	劣化名	補修工法	区分
㊦	[斜線]	壁面モルタル浮き部	アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）	一般部分
		笠木、面台天端モルタル浮き部		狭巾部分
		同上ダキ、壁面ダキ		
㊦	●	欠損 100×100 深さ30~50程度	欠損部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法4）	
㊦	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）	
㊦	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）	
㊦	~~~~~	クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法7）	
		同上ダキ		
㊦	[斜線]	塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ	
		同上ダキ		

㊧ 外壁劣化部改修（東西面）：劣化部分のみの改修及びその部分の仕上塗材補修とする。
（※G L+21.900レベルのバラベツト及び掃裏は全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする）

符号	図示	劣化名	補修工法	区分	
㊦	[斜線]	壁面モルタル浮き部	モルタル浮き部はつり補修工法 改修工法・詳細（工法2） アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）	一般部分	
		壁面タイル浮き部		狭巾部分	
		笠木、面台天端モルタル浮き部			
㊦	[斜線]	同上ダキ、壁面ダキ	モルタル浮き部はつり補修工法 改修工法・詳細（工法2）		
		●		欠損部軽量モルタル塗り工法 改修工法・詳細（工法3）	
		+++++		鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）
㊦	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）		
㊦	~~~~~	クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法6）		
		同上ダキ			
㊦	[斜線]	塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ		
		同上ダキ			



東側立面図 S=1/100
(X1面)

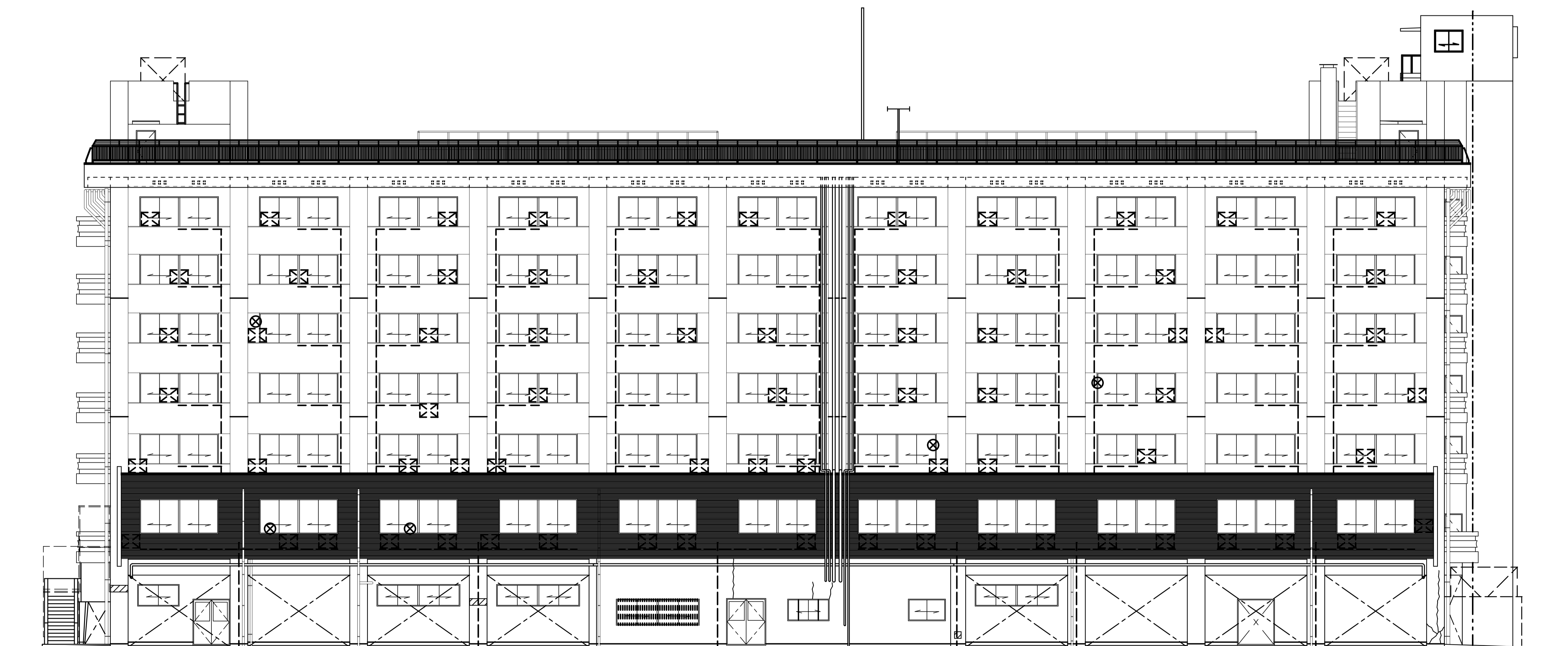


④外壁改修（南北面）：全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする。

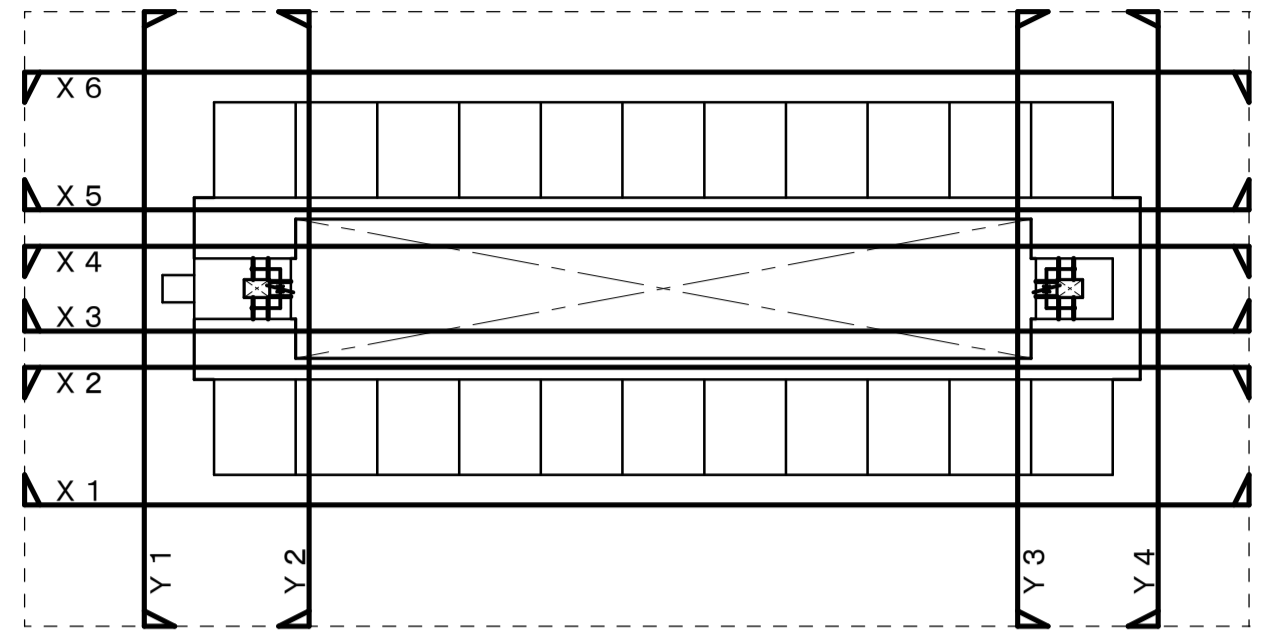
符号	図示	劣化名	補修工法	
Ⓜ		壁面モルタル浮き部	アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）	一般部分
		笠木、面台天端モルタル浮き部		狭巾部分
		同上ダキ、壁面ダキ		
欠	●	欠損 100×100 深さ30~50程度	欠損部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法4）	
Ⓜ1	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）	
Ⓜ2	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）	
⑦		クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法7）	
	△	同上ダキ		
⑧		塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ	
		同上ダキ		

⑤外壁劣化部改修（東西面）：劣化部分のみの改修及びその部分の仕上塗材補修とする。
（※GL+21.900レベルのバラベツ及び揚巻は全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする）

符号	図示	劣化名	補修工法		
Ⓜ		壁面モルタル浮き部	モルタル浮き部はつり補修工法 改修工法・詳細（工法2）	一般部分	
		壁面タイル浮き部		アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）	
		笠木、面台天端モルタル浮き部		モルタル浮き部はつり補修工法 改修工法・詳細（工法2）	狭巾部分
欠	●	欠損 100×100 深さ30~50程度	欠損部軽量モルタル塗り工法 改修工法・詳細（工法3）		
Ⓜ1	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）		
Ⓜ2	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）		
⑦		クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法6）		
	△	同上ダキ			
⑧		塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ		
		同上ダキ			



西側立面図 S=1/100
(X6面)

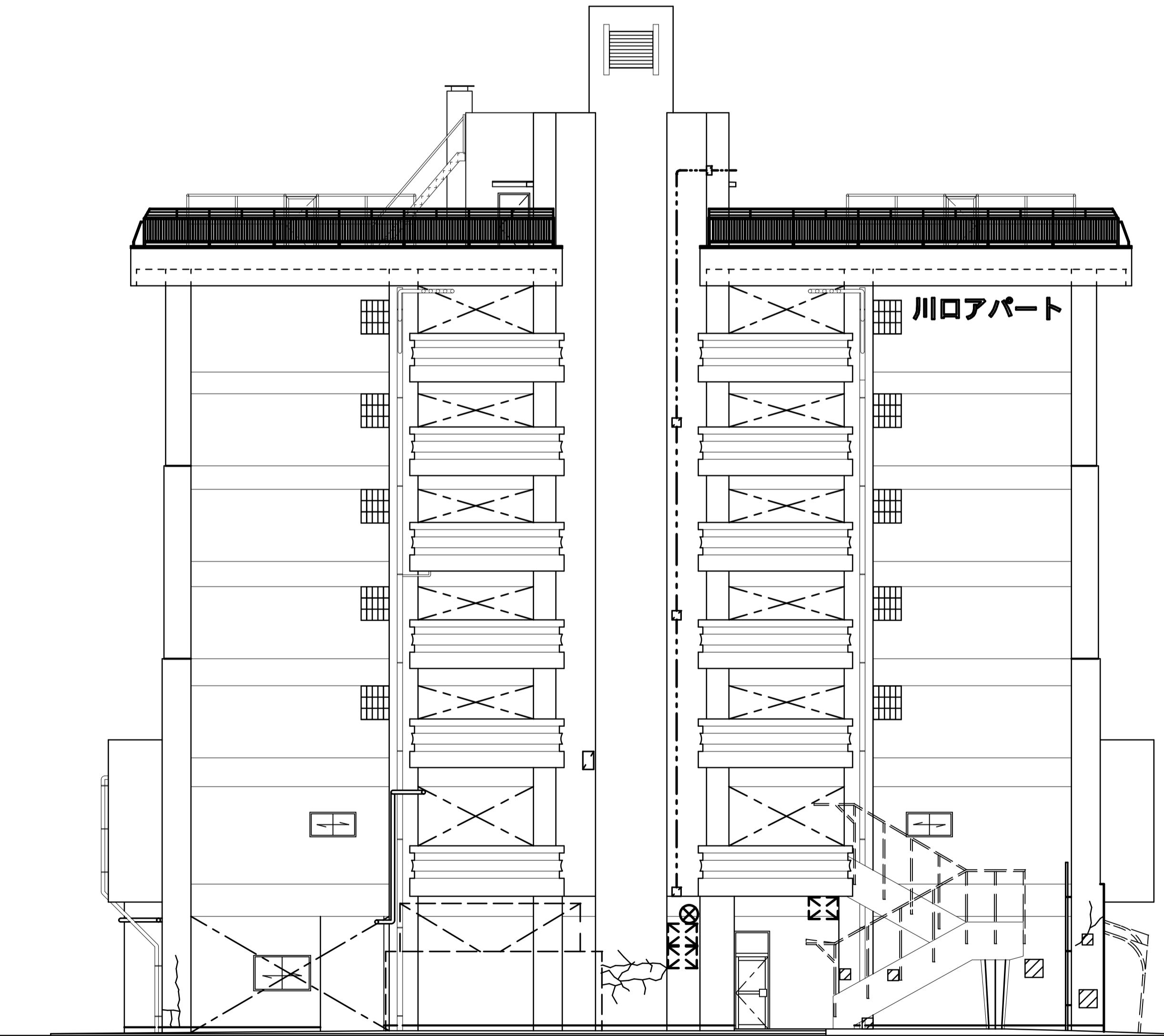


㊦ 外壁改修 (南北面) : 全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする。

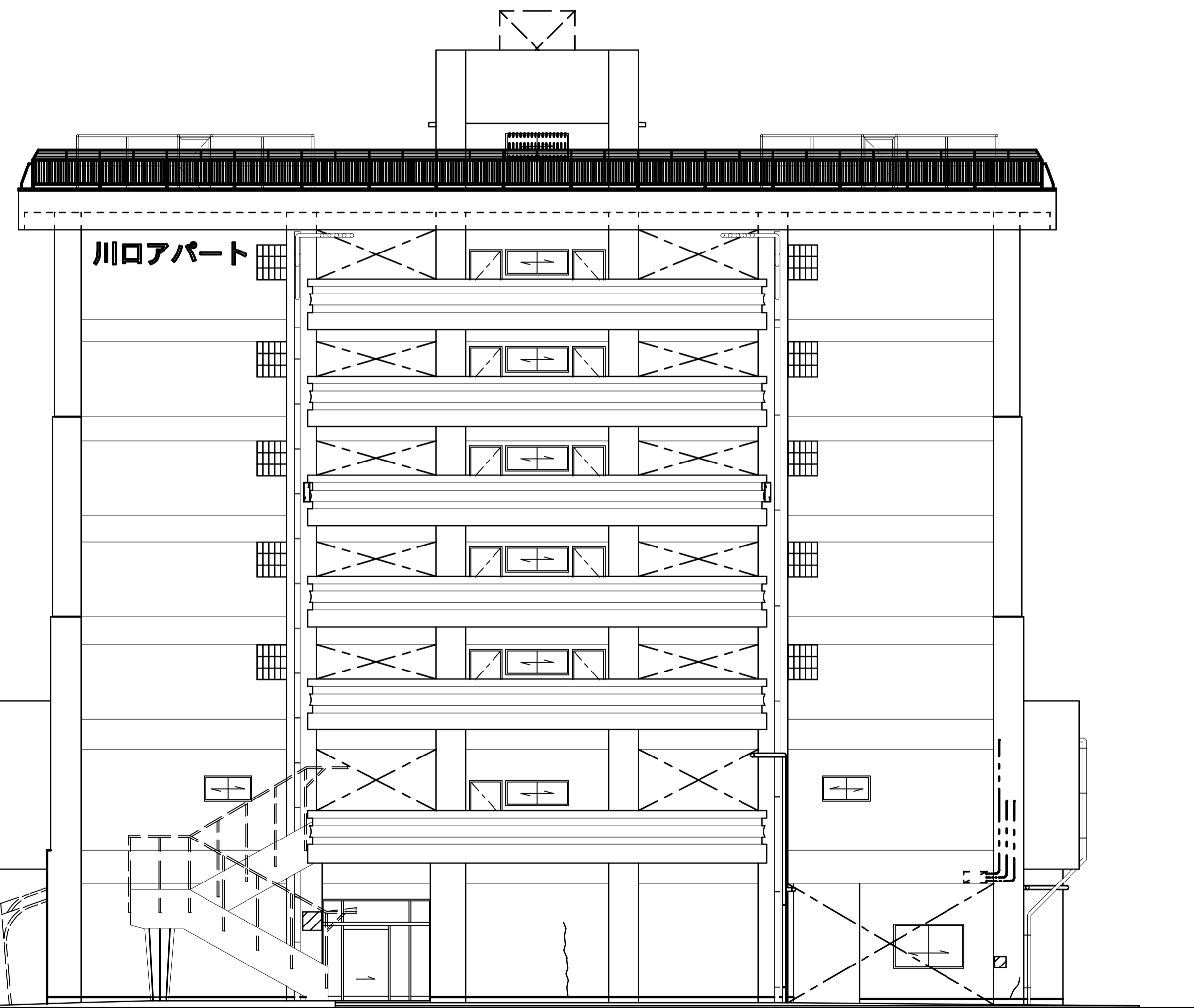
符号	図示	劣化名	補修工法	区分
㊦	[斜線]	壁面モルタル浮き部	アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細 (工法1)	一般部分
		笠木、面台天端モルタル浮き部		狭巾部分
		同上ダキ、壁面ダキ		
㊦	●	欠損 100×100 深さ30~50程度	欠損部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細 (工法4)	狭巾部分
㊦	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細 (工法5-2)	
㊦	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細 (工法5-1)	
㊦	~~~~~	クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細 (工法7)	
㊦	△	同上ダキ		
㊦	[斜線]	塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ	
		同上ダキ		

㊧ 外壁劣化部改修 (東西面) : 劣化部分のみの改修及びその部分の仕上塗材補修とする。
(※GL+21.900レベルのバラベツ及び揚巻は全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする)

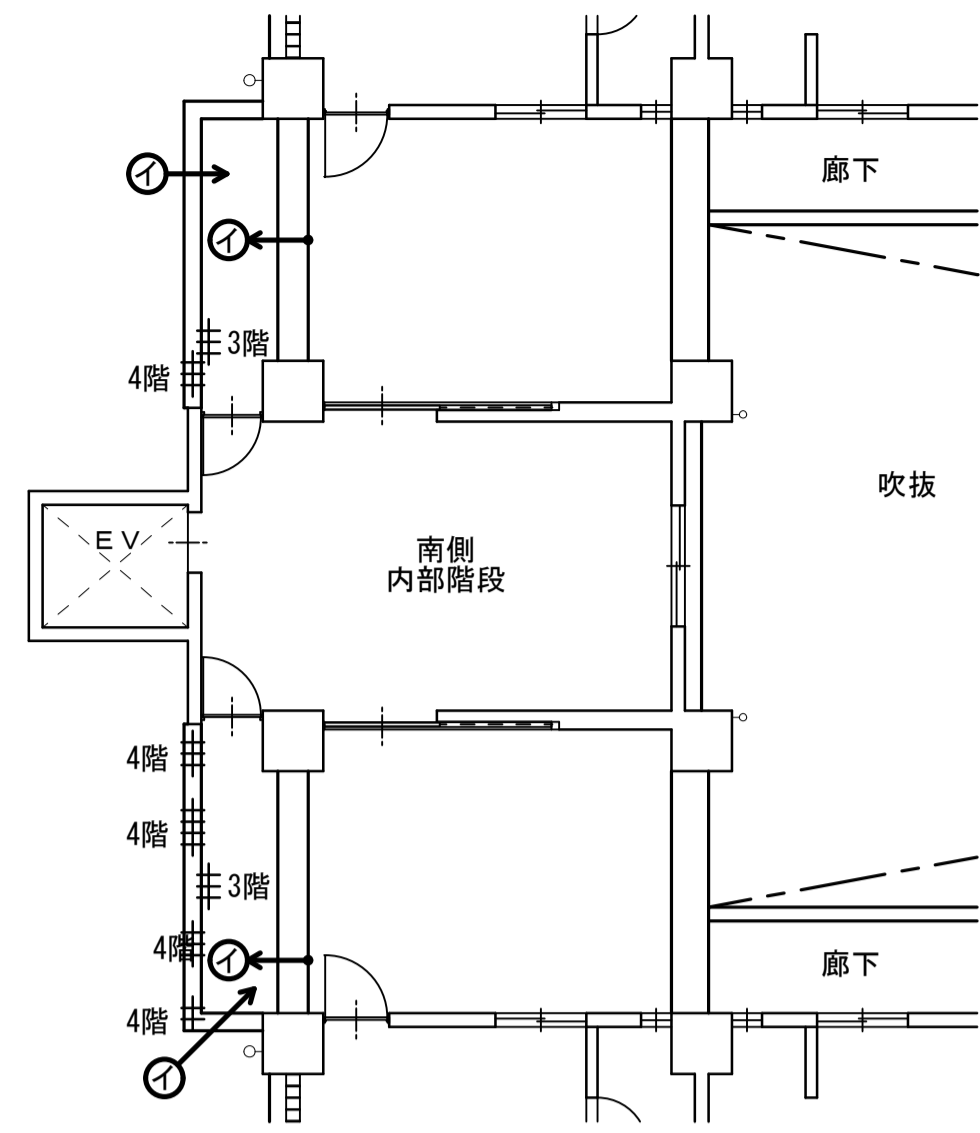
符号	図示	劣化名	補修工法	区分
㊦	[斜線]	壁面モルタル浮き部	アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細 (工法1)	一般部分
		壁面タイル浮き部		狭巾部分
		笠木、面台天端モルタル浮き部		
㊦	●	欠損 100×100 深さ30~50程度	欠損部軽量モルタル塗り工法 改修工法・詳細 (工法3)	狭巾部分
㊦	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細 (工法5-2)	
㊦	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30~50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細 (工法5-1)	
㊦	~~~~~	クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細 (工法6)	
㊦	△	同上ダキ		
㊦	[斜線]	塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1面合せ	
		同上ダキ		



南側立面図 S=1/100
(Y1面)



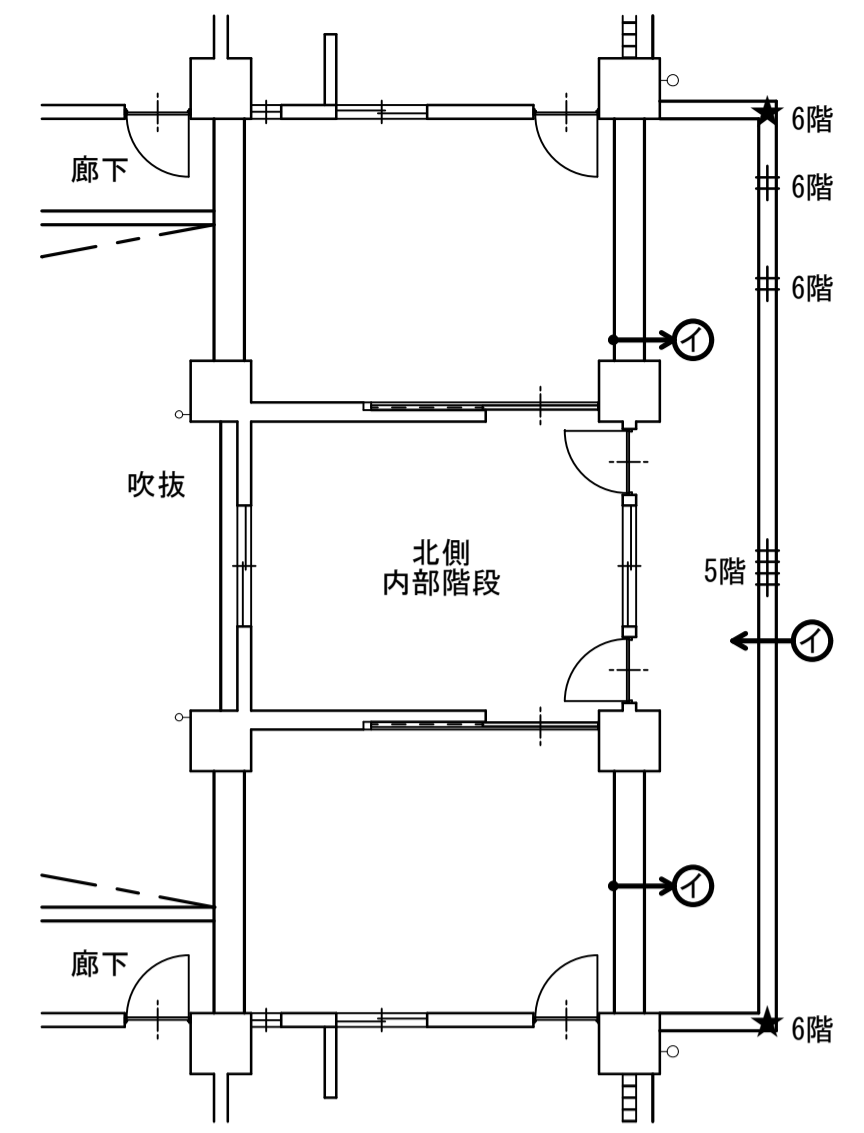
北側立面図 S=1/100
(Y4面)



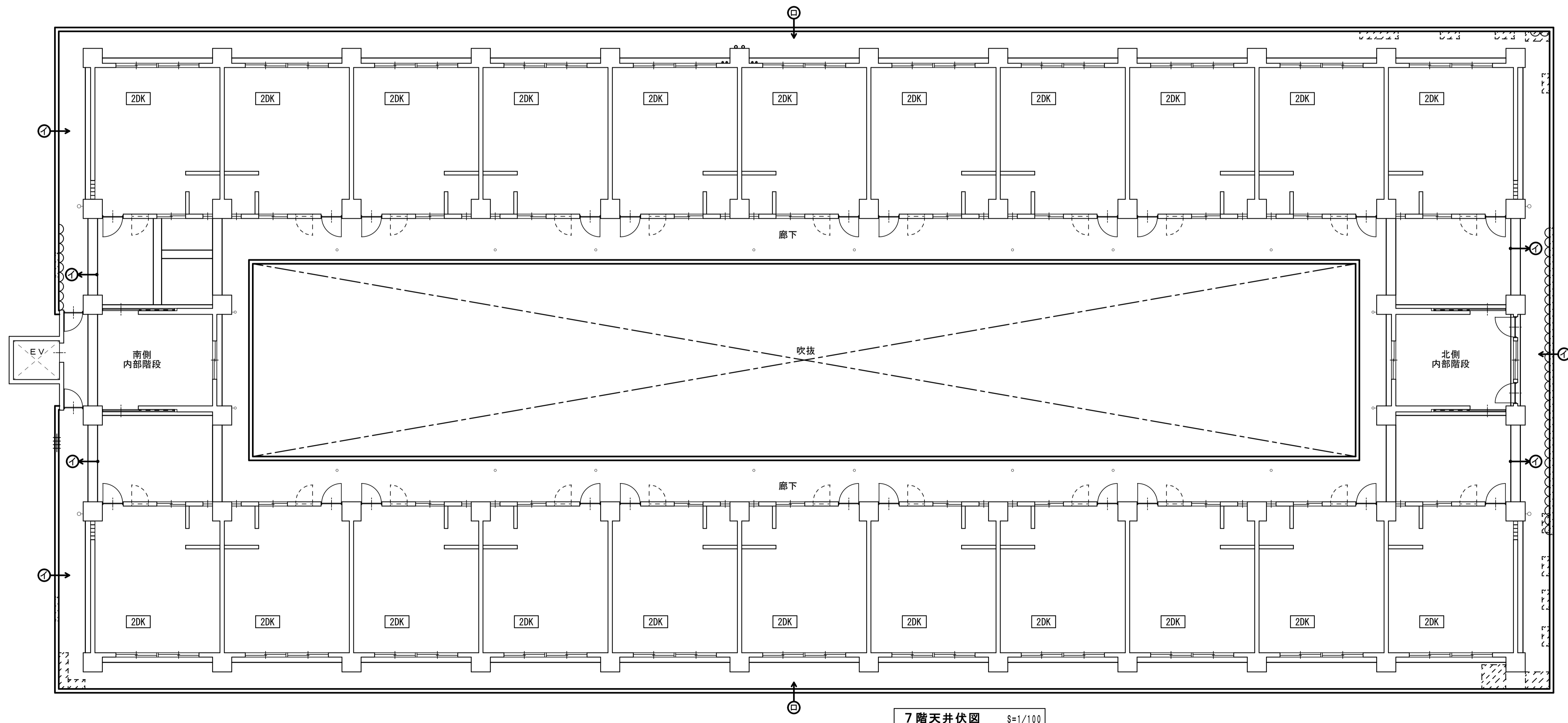
2～6階天井伏図 S=1/100

①外壁改修（南北面）：全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする。			
符号	図示	劣化名	補修工法
モ		壁面モルタル浮き部	アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）
		笠木、面台天端モルタル浮き部	
		同上ダキ、壁面ダキ	
欠	●	欠損 100×100 深さ30～50程度	欠損部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法4）
爆	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30～50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）
爆	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30～50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）
クラ		クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法7）
	△	同上ダキ	
塗		塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1 面合せ
		同上ダキ	

②外壁劣化部改修（東西面）：劣化部分のみの改修及びその部分の仕上塗材補修とする。 （※G.L.+21.900レベルのバラベツ及び掃裏は全面仕上塗材及び劣化部分の改修とする）			
符号	図示	劣化名	補修工法
モ		壁面モルタル浮き部	モルタル浮き部はつり補修工法 改修工法・詳細（工法2） アンカーピンニング部分注入工法 改修工法・詳細（工法1）
		壁面タイル浮き部	
		笠木、面台天端モルタル浮き部	
欠	●	欠損 100×100 深さ30～50程度	欠損部軽量モルタル塗り工法 改修工法・詳細（工法3）
爆	+++++	鉄筋爆裂 幅100 深さ30～50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-2）
爆	★	鉄筋爆裂 100×100 深さ30～50程度	爆裂部軽量モルタル充填工法 改修工法・詳細（工法5-1）
クラ		クラック部	Uカットシーリング材充填工法 改修工法・詳細（工法6）
	△	同上ダキ	
塗		塗材浮き部	スクレイパー除去の上、 セメント系下地調整塗材C-1 面合せ
		同上ダキ	



2～6階天井伏図 S=1/100



7階天井伏図 S=1/100

記	事	設計	担当	製図	工事名称	設計日
						H26. 9.
〒82-005 長崎市油木町5番11号 TEL(095)942-5001 株式会社 木戸設計 <small>一級建築士事務所 長崎県知事登録 第123083号 一級建築士 木戸 九洲男 建設大臣登録番号 第209902号</small>						図面名称
川口団地外壁改修工事						縮尺
劣化図. 4 (天井伏図)						1/100(A) 1/200(A3)
						図面番号
						A-27